

長岡工業高等専門学校

研究業績目録

No.49

(2013.10-2014.9)

2014

凡 例

1. 本目録は、2013年10月から2014年9月までに発表された、長岡工業高等専門学校の研究業績である。なお、2013年10月以前に発表されたもので、「長岡工業高等専門学校研究業績目録 No.48 2013」に収録されなかったものも一部含まれている。
2. 業績の配列は、一般教育科（文科・理科・体育）、機械工学科、電気電子システム工学科、電子制御工学科、物質工学科、環境都市工学科および教育研究技術支援センターの順とした。
3. 個々の配列は、人名の五十音順とした。
4. 個人別番号の前に付けた☆は査読付を表す。

一般教育科（文科）

占部 昌蔵

- ☆1 【原著論文】 占部昌蔵, 白畑知彦:「現在完了形の誤り分析ー過剰使用と過少使用ー」, 中部地区英語教育学会紀要 43, pp. 81-86, 2014. 1
- ☆2 【原著論文】 占部昌蔵:「高専学生の英語学習意欲減退の特徴ー大学生と比較してー」, 論文集「高専教育」, 第 37 号, pp. 371-375, 2014. 3
- 3 【口頭発表】 土田泰子, 大湊佳宏, 占部昌蔵, 大森理聡, 米崎啓和, 木村博子:「長岡高専における英語多読実践と教育効果に関する研究」, 平成 26 年度全国高等専門学校英語教育学会研究大会, 国立オリンピック記念青少年総合センター, p. 17, 2014. 9. 13

大湊 佳宏

- 1 【口頭発表】 河谷諒平, 古田島裕斗, 高山貴宏, 和田元輝, 竹部啓輔, 佐藤秀一, 大湊佳宏:「英語多読教育支援システムの構築(4)」, 第 19 回高専シンポジウム in 久留米 講演要旨集, p. 195, 2014. 1
- 2 【口頭発表】 土田泰子, 大湊佳宏, 占部昌蔵, 大森理聡, 米崎啓和, 木村博子:「長岡高専における英語多読実践と教育効果に関する研究」, 平成 26 年度全国高等専門学校英語教育学会研究大会, 国立オリンピック記念青少年総合センター, p. 17, 2014. 9. 13

大森 理聡

- 1 【著 書】 水戸直和, 大森理聡, 渡辺政寿:「ステップワイズ 3」, 文英堂, 2014, 9
- 2 【口頭発表】 大森理聡:「中学校英語検定済教科書に登場するノンネイティブスピーカーについて」, 平成 26 年度全国高専教育フォーラム, pp. 143-144, 2014, 8
- 3 【口頭発表】 土田泰子, 大湊佳宏, 占部昌蔵, 大森理聡, 米崎啓和, 木村博子:「長岡高専における英語多読実践と教育効果に関する研究」, 平成 26 年度全国高等専門学校英語教育学会研究大会, 国立オリンピック記念青少年総合センター, p. 17, 2014. 9. 13

佐藤 公俊

- 1 【報 告】 佐藤公俊, 吉川友子, 野口一英, 松島武司, 荒牧和沙:「長岡高専インターアクトクラブ活動報告 2013-理念・方針・活動・沖縄高専との交流・安全対策-」, 長岡工業高等専門学校研究紀要, 第 49 巻, pp. 25-34, 2013. 11
- 2 【学会報告】 佐藤公俊:「ピアトリス・ウェブの経済学の方法の変遷」, 第 61 回経済理論学会, 2013. 10. 6
- 3 【学会報告】 佐藤公俊:「1886 年のピアトリス・ポッター（・ウェブ）の経済学の方法の展開」, 社会理論学会第 107 回月例研究会, 2014. 4. 26
- 4 【学会報告論文】 佐藤公俊:「ピアトリス・ウェブの経済学の方法」, 経済理論学会第 61 回大会ホームページ: <http://www.isc.senshu-u.ac.jp/~the0698/jspe61.html>, 2013. 10

田中 聡

- 1 【講 演】 田中聡:「佐渡のこと, 知っていますか」, まちなかキャンパス長岡まちなかカフェ, 2014. 3. 6
- 2 【資料紹介】 高橋一樹, 田中聡, 広井造, 福原圭一, 鴨川達夫, 村井祐樹, 田中洋史, 前嶋敏:「北方文化博物館所蔵『越佐史料稿本』(天正十二年七月~十三年二月) および『越佐史料』編纂関係資料」, 新潟県立歴史博物館研究紀要, 第 15 号, pp. 108-156, 2014. 3
- 3 【講 演】 田中聡:「越後川中島ものがたりー弥彦山の山頂からー」, 新潟県立文書館史講座, 2014. 7. 12
- 4 【調査協力】 田中聡ほか:「新潟県立文書館資料所在確認調査ー旧松之山町ー」, 2014. 8. 23~8. 24
- 5 【講 演】 田中聡:「こんなに違う! 歴史教科書を比較してみよう!」, まちなかキャンパス長岡まちなか大学ひとづくり学科「ここが変わった!! 日本史教科書」(5 回連続講座のうち第 1 回), 2014. 9. 12
- 6 【口頭発表】 田中聡:「河村彦左衛門尉を追いかけて」, 第 7 回越佐地方史談話会, 2014. 9. 13

土田 泰子

- 1 【口頭発表】 土田泰子：「グラフィックデザインによる説得的コミュニケーションの構造分析」，平成 25 年度女性研究者研究交流会，p. 65，2013. 12
- 2 【口頭発表】 土田泰子，大湊佳宏，占部昌蔵，大森理聡，米崎啓和，木村博子：「長岡高専における英語多読実践と教育効果に関する研究」，平成 26 年度全国高等専門学校英語教育学会研究大会，国立オリンピック記念青少年総合センター，p. 17，2014. 9. 13

米崎 啓和

- ☆1 【原著論文】 米崎啓和：「ディクテーションは高校生のリスニング力を伸ばすかリーディング力・文法力の高い集団を対象とした実証研究」，中部地区英語教育学会紀要，第 43 号，pp. 43-50，2014. 1
- 2 【口頭発表】 米崎啓和：「リスニングにおける予測文法力を活性化する指導法について」，第 44 回中部地区英語教育学会山梨大会，2014. 6. 21-22，山梨大学
- 3 【口頭発表】 米崎里，米崎啓和：「Wh-疑問文において頻出する誤りに関する研究－大学生の Q&A 作りに焦点をおいて－」，第 40 回 全国英語教育学会徳島研究大会，2014. 8. 9-10，徳島大学

一般教育科（理科）

新井 好司

- ☆1 【原著論文】 P. Descouvemont, D. Baye, Y. Suzuki, S. Aoyama and K. Arai: “Few-body models for nuclear astrophysics”，AIP Advances, Vol. 4, 041011(14 page), 2014

小川 秀

- 1 【ポスター発表】 小川秀，古川清：「ヤマトヒメミズ再生過程における糖鎖の発現分布の解析」，第 55 回新潟生化学懇話会，長岡技術科学大学，P-46，2014. 6

佐藤 秀一

- 1 【口頭発表】 和田元輝，河谷諒平，古田島裕斗，高山貴宏，竹部啓輔，佐藤秀一：「英語多読教育支援システムの構築(1)」，第 19 回高専シンポジウム in 久留米 講演要旨集，p. 192，2014. 1
- 2 【口頭発表】 古田島裕斗，河谷諒平，高山貴宏，和田元輝，竹部啓輔，佐藤秀一：「英語多読教育支援システムの構築(2)」，第 19 回高専シンポジウム in 久留米 講演要旨集，p. 193，2014. 1
- 3 【口頭発表】 高山貴宏，河谷諒平，古田島裕斗，和田元輝，竹部啓輔，佐藤秀一：「英語多読教育支援システムの構築(3)」，第 19 回高専シンポジウム in 久留米 講演要旨集，p. 194，2014. 1
- 4 【口頭発表】 河谷諒平，古田島裕斗，高山貴宏，和田元輝，竹部啓輔，佐藤秀一，大湊佳宏：「英語多読教育支援システムの構築(4)」，第 19 回高専シンポジウム in 久留米 講演要旨集，p. 195，2014. 1

佐藤 直紀

- 1 【原著論文】 Toyohiko Aiki, Yusuke Murase, Naoki Sato, Ken Shirakawa: “A mathematical model for a hysteresis in adsorption phenomena”，数理解析研究所講究録 1856 「非平衡現象における発展方程式理論の新展開」，pp. 1-11，2013. 10

野澤 武司

- 1 【著 書】 齋藤純一，高遠節夫，野澤武司，濱口直樹，前田善文，山下哲：「新 微分積分Ⅱ」，大日本図書，2013. 11
- 2 【著 書】 阿部弘樹，新井一道，高遠節夫，西浦孝治，野澤武司，濱口直樹：「新 微分積分Ⅱ問題集」，大日本図書，2014. 2
- 3 【原著論文】 西浦孝治，野澤武司：「高等学校における数学ソフトウェアの活用とその現状」，福島工業高等専門学校研究紀要，Vol. 54，pp. 165-168，2014. 1. 30
- 4 【原著論文】 金子真隆，野澤武司，高遠節夫：「KETpic による数学教材改善の試み－ワークショップ形式の討議を通じて－」，東邦大学教養紀要，Vol. 45，pp. 123-133，2014. 2. 28

- 5 【招待講演】 野澤武司, 栗本育三郎, 田中駿也, 濱口直樹, 碓氷久, 佐瀬巧, 池田将士, 中川匡弘: 「光トポグラフィを用いた三角関数のグラフ描画タスクにおける脳内賦活機序の追跡」, 生体・感性及び高度情報処理シンポジウム 2014, pp. 53-60, 2014. 1
- 6 【口頭発表】 Takeshi Nozawa, Masataka Kaneko, Masahiro Nakagawa: “NIRS SIGNAL ANALYSIS FOR BRAIN PROCESS ASSOCIATED TO DRAWING GRAPHS OF TRIGONOMETRIC FUNCTIONS”, The 3rd Internatinal GIGAKU Conference in NAGAOKA(IGCN2014), pp. 89-89, 2014. 6. 22
- 7 【口頭発表】 西浦孝治, 野澤武司: 「高等学校における数学ソフトウェアの活用とその現状, RIMS 研究集会「数学ソフトウェアとその効果的教育利用に関する研究」, 2014. 9. 2

松永 茂樹

- ☆1 【原著論文】 S. Matsunaga: “Anomalous Electrical Properties in Superionic ($\text{Ag}_x\text{Cu}_{1-x}$)Br ($x=0.5$): ab initio Study”, Ionics, Online First, pp.1-6, 2014. 5
- ☆2 【原著論文】 S. Matsunaga: “Effect of dissolution of methane in aqueous NaCl solution: A molecular dynamics study”, JPS Conference Proceedings, vol.1, pp. 012061-1-012061-4, 2014. 3
- ☆3 【原著論文】 S. Matsunaga: “A molecular dynamics study of structure and thermal properties of carbon dioxide in sodium chloride aqueous solution”, Journal of Physics: Conference Series, vol. 490, pp. 012158-1-012158-4, 2014. 3
- 4 【口頭発表】 S. Matsunaga: “Influence of HCO_3^- ion on Structure and Transport Properties of Seawater”, The 15th International Union of Materials Research Societies, International Conference in Asia (IUMRS-ICA 2014), A1-P25-008, 福岡大学, 2014. 8
- 5 【口頭発表】 S. Matsunaga and S. Tamaki: “Dynamical Ionic Behavior in Dilute Aqueous Electrolyte Solution”, 9th Liquid Matter Conference 2014, P2-7, Univ. of Lisbon, Portugal, 2014. 7
- 6 【口頭発表】 松永茂樹, 田巻繁: 「電解質水溶液の構造と輸送現象Ⅲ」, 日本物理学会 2014 年秋季大会, 講演概要集 9pBB-2, 中部大学, 2014. 9
- 7 【口頭発表】 松永茂樹, 田巻繁: 「電解質水溶液の構造と輸送現象Ⅱ」, 日本物理学会 第 69 回年次大会, 講演概要集 28aCB-3, 東海大学, 2014. 3
- 8 【口頭発表】 松永茂樹, 田巻繁: 「希薄電解質溶液におけるイオン伝導度」, 平成 25 年度日本物理学会新潟支部第 42 回例会, 新潟大学五十嵐キャンパス, 発表予稿集 p. 36, 2013. 12

山田 章

- 1 【著 書】 山田章ほか: 「高専テキストシリーズ 応用数学」, 高専の数学教材研究会編, 森北出版, 2013. 11. 29
- 2 【著 書】 山田章ほか: 「高専テキストシリーズ 確率統計」, 高専の数学教材研究会編, 森北出版, 2013. 12. 27
- 3 【著 書】 山田章ほか: 「高専テキストシリーズ 応用数学 問題集」, 高専の数学教材研究会編, 森北出版, 2014. 1. 31
- 4 【著 書】 山田章ほか: 「高専テキストシリーズ 確率統計 問題集」, 高専の数学教材研究会編, 森北出版, 2014. 3. 24

涌田 和芳

- 1 【原著論文】 涌田和芳, 外川一仁: 「与板八幡宮の紛失算額 (3)」, 長岡工業高等専門学校研究紀要, 第 49 巻, pp. 1-6, 2013. 11
- 2 【原著論文】 涌田和芳, 外川一仁: 「三条本成寺の紛失算額」, 長岡工業高等専門学校研究紀要, 第 49 巻, pp. 7-11, 2013. 11
- ☆3 【原著論文】 涌田和芳, 外川一仁: 「和算における極値問題の解法について」, 数学史研究, 第 217 巻, pp. 29-42, 2014. 3

一般教育科（体育）

阿部 高弘

- 1 【教育指導】 阿部高弘：「投げ技技術解説，指導」，新発田市カルチャーセンター，下越地区中学校柔道実技指導，2013. 12. 28
- 2 【教育指導】 阿部高弘：「投げ技技術解説，指導」，高田スポーツセンター柔道場，上越地区中学校柔道実技指導，2014. 2. 22
- 3 【教育指導】 阿部高弘：「投げ技技術解説，指導」，長岡市民体育館，長岡市中学校柔道実技指導，2014. 6. 7
- 4 【教育指導】 阿部高弘：「投げ技技術解説，指導」，長岡市民体育館，長岡市中学校柔道実技指導，2014. 10. 18
- 5 【講 演】 阿部高弘：「新潟県柔道連盟審判講習会」，新潟県柔道連盟，新潟県内柔道指導者208名，2014. 2. 9
- 6 【講 演】 阿部高弘：「新潟県柔道連盟審判講習会」，新潟県柔道連盟，新潟県内柔道指導者及び高校生188名，2014. 4. 13
- 7 【講 演】 阿部高弘：「中越地区柔道連盟審判講習会」，中越地区柔道連盟，中越地区指導者及び高校生68名，2014. 5. 24

江田 茂行

- 1 【教育指導】 江田茂行：「ハピスカ豊栄 走る・投げる・跳ぶ小学生陸上競技遊び実技指導」，豊栄総合体育館，2013. 11. 30/2014. 2. 16(2回)
- 2 【教育指導】 江田茂行：「新発田市内中学生対象ハードルトレーニング実技指導」，新発田市立東中学校，2014. 1. 13/1. 18/1. 25/2. 1/2. 8/2. 23/3. 1/3. 8/3. 16/3. 22 (10回)
- 3 【教育指導】 江田茂行：「やろでばみんな で 走る・投げる・跳ぶ 陸上あそび」，水原総合体育館，2014. 2. 1/2. 8./2. 15(3回)
- 4 【教育指導】 江田茂行：「見附市立名木野小学校陸上競技実技指導」，見附市立名木野小学校，2014. 9. 1/9. 3/9. 4/9. 8/9. 12(5回)
- 5 【教育指導】 江田茂行：「見附市立新潟小学校6年生陸上競技実技指導」，見附市立新潟小学校，2014. 8. 27/9. 2/9. 9(3回)
- 6 【教育指導】 江田茂行：「楽しく投げる・遠くに投げるための身のこなし方指導～低・中・高学年別指導について～」，新潟市立升潟小学校，2014. 6. 5 (3回)
- 7 【教育指導】 江田茂行：「新潟市立升潟小学校5・6年生陸上競技実技指導」，新潟市立升潟小学校，2014. 6. 10/6. 24/7. 4(3回)
- 8 【講 師】 江田茂行：「子どもたちの体力（走力）の向上のためのポイントとその指導法について」，三条市小学校教育研究協議会体育部，三条市立大崎小学校，2014. 6. 20

桐生 拓

- 1 【口頭発表】 松井高光，木村昌彦，田中秀昌，桐生拓：「柔道における頭部外傷の実態と障害防止」日本体育学会第65回大会予稿集，p. 143，2014. 8

機械工学科

青柳 成俊

- ☆1 【論 文】 Naritoshi Aoyagi, Tadachika Nakayama, Nobuhiro Harada, Mayumi Tanaka, Kou Ibayashi：「Learning from A Research of Overseas Industries」，Transaction of GIGAKU (2nd IGCN)，vol.2，2014
- 2 【論 文】 N. Aoyagi, M. Yamagishi：「A CDIO APPROACH AND COLLABORATION ON PROJECT WORK IN MECHANICAL ENGINEERING」，8th International Symposium on Advances in Technology Education (ISATE2014)，2014. 9，Singapore

- ☆3 【口頭発表】 Naritoshi Aoyagi, Teppei Watanabe and S. Kamado : “ Deformation and Strength Characteristics of AM50 Magnesium Alloy Sheet at Elevated Temperature” , The 5th Asian Symposium on Magnesium Alloys (ASMA5), Toki-Messe, 2013. 10 ,Niigata
- 4 【口頭発表】 青柳成俊, 高野紘彰, 佐々木貴大:「粉末焼結プロセスによる TiO₂/Ti6Al4V 合金積層材料の製造と組織」, 日本金属学会日本鉄鋼協会北陸信越支部総会連合講演会, 2013. 12, 信州大学
- 5 【口頭発表】 Harun Muhamad Arif, 宮下幸雄, 青柳成俊, 大塚雄一 : “ Strength of adhesive aided SPR joint for AZ31 magnesium alloy sheet” , 日本機械学会北陸信越支部第 51 期総会・講演会, 2014. 3, 富山県立大学
- 6 【口頭発表】 青柳成俊, 高野紘彰:「放電プラズマ焼結法による TiO₂/Ti6Al4V 合金焼結接合材の製造と組織」, 軽金属学会第 126 回春期大会講演概要, 2014. 5, 広島大学
- 7 【口頭発表】 青柳成俊, 田中真由美 : 「内容言語統合型学習による工学英語教育の実践と今後の課題」, 日本工学教育協会第 62 回年次大会・工学教育研究講演会, 2014. 8
- 8 【口頭発表】 田中真由美, 青柳成俊 : 「工学専攻の学生による英語とモノ作りを統合させた子ども向け講座の実施」, 第 20 回日英・英語教育学会研究大会, 2014. 9
- ☆9 【口頭発表】 N. Aoyagi, M. Yamagishi: “A CDIO APPROACH AND COLLABORATION ON PROJECT WORK IN MECHANICAL ENGINEERING” , International Symposium on Advances in Technology Education (ISATE2014), 2014. 9, Singapore

池田 富士雄

- ☆1 【原著論文】 外山茂浩, 池田富士雄 : 「記述関数法によるセミアクティブサスペンションのスライディングモード制御」, 日本機械学会論文集 C 編, Vol. 79, No. 808, pp. 4984-4993, 2013
- ☆2 【原著論文】 Shigehiro Toyama, Kouhei Iihama, Fujio Ikeda, Hiroaki Seta, Nobuo Ezaki : “Operability Evaluation of Pleasure Boats Based on Usability as Addressed by ISO 9241-11” , Journal of System Design and Dynamics, Vol. 7, No. 4, pp. 378-392, 2013
- 3 【著 書】 Shigehiro Toyama, Makoto Yokoyama, Fujio Ikeda : “Design of Sliding Mode Controller for Semi-Active Suspension Systems with Magnetorheological Dampers” , Handbook of Vehicle Suspension Control, Chap. 9, Ed. Honghai Liu, The Institution of Engineering and Technology, 2013
- ☆4 【口頭発表】 Fujio Ikeda, Shigehiro Toyama, Toshio Kumota, Takashi Yanagisawa : “Development of sewer pipe inspection vehicle using integrated sensing system” , The 12th International Conference on Motion and Vibration Control, 3C25, 2014. 8
- ☆5 【口頭発表】 Shigehiro Toyama, Fujio Ikeda, Honghai Liu : “Integral Sliding Mode Control for Active Suspension Systems of Half-Vehicle Model” , The 12th International Conference on Motion and Vibration Control, 1B34, 2014. 8
- 6 【口頭発表】 佐藤雄一, 池田富士雄, 雲田俊夫, 柳澤敬 : 「レーザ距離計を用いた管内形状測定装置の開発」, 第 56 回自動制御連合講演会, 440, 2013. 11
- 7 【口頭発表】 松村峻平, 池田富士雄 : 「慣性センサを搭載した下水道管路用傾斜測定ビークルの開発」, 平成 26 年度高専・長岡技科大 (機械系) 技学セミナー, 2014. 8
- 8 【特 許】 池田富士雄, 雲田俊夫, 佐藤雄一 : 「内形状測定装置」, 特許第 5554372 号 (特願 2012-124348), 2014. 6. 6 登録

井山 徹郎

- ☆1 【原著論文】 Ikuo TANABE, Ye Htut SOE, Tetsuro IYAMA and Mitsuaki SHIBUYTA : “Development of Cutting Technology in Strong Alkaline Water” , Key Engineering Materials, Vol. 581, pp. 272-277, 2014
- 2 【特 許】 井山徹郎 : 「ラップ端子の製造方法, ラップ端子及びラッピング装置」特許登録番号 5317052
- 3 【特 許】 井山徹郎 : 「ラップ剤砥粒の回収装置及び回収方法」特許登録番号 5320640
- 4 【特 許】 井山徹郎 : 「ラップ剤, ラッピング装置及びラッピング加工方法」特許登録番号 5445992

大石 耕一郎

- ☆1 【原著論文】 Tomoya Nishiyama, Kazuki Takezawa, Yuta Nakazawa, Takahiro Oyanagi, Takahiro Kato, Koichiro Oishi, Susumu Nakamura, and Kanji Yasui: “Effects of sputtered buffer layer on the characteristics of ZnO:Al films grown on glass substrates using high-temperature H₂O generated by a catalytic reaction”, Japanese Journal of Applied Physics, Vol.53, 2014, 02BC02
- 2 【口頭発表】 K. Oishi, K. Nakamura, M. Yamazaki, S. Fukai, T. Shigeno, H. Katagiri: “Characterization of CuInS₂-Cu₂ZnSnS₄ crystals grown from the melt”, 19th International Conference on Ternary and Multinary Compounds, P4-073, 2014. 9. 1-2014. 9. 5, Niigata, Japan
- 3 【口頭発表】 M. Yamazaki, K. Oishi, S. Fukai, S. Hiroi, K. Nakamura, H. Katagiri: “Photoluminescence and Photoacoustic Study of Cu(In,Ga)S₂ Crystals”, 19th International Conference on Ternary and Multinary Compounds, Wed-0-5A, 2014. 9. 1-2014. 9. 5, Niigata, Japan
- 4 【報 告】 竹澤和樹, 中村友紀, 小柳貴寛, 加藤孝弘, 片桐裕則, 大石耕一郎, 神保和夫, 安井寛治: 「触媒反応生成高エネルギーH₂Oを用いた ZnO 膜の成長 –ガラス基板上堆積膜の特性改善の試み–」, 電子情報通信学会技術研究報告, EMD2013-23, CPM2013-38, OME2013-46, 2013, pp. 89-94
- 5 【口頭発表】 Tomoya Nishiyama, Yuta Nakazawa, Kazuki Takezawa, Takahiro Oyanagi, Takahiro Kato, Koichiro Oishi, Susumu Nakamura, and Kanji Yasui: “Influence of Sputtered Buffer Layer on the Characteristics of ZnO Thin Films Grown on Glass Substrates using Catalytically Generated High-energy H₂O”, The 4th International Symposium on Organic and Inorganic Materials and Related Nanotechnologies (EM-NANO 2013), P2-34, 2013. 6. 17-2013. 6. 20, Kanazawa, Japan
- 6 【口頭発表】 K. Takezawa, T. Oyanagi, T. Kato, H. Katagiri, K. Oishi, K. Jinbo, K. Yasui: “ZnO films grown on glass substrates using high-temperature H₂O generated by a catalytic reaction between H₂ and O₂ -Effect of low temperature CVD buffer layer-”, 8th International Symposium on Transparent Oxide and Related Materials for Electronics and Optics (TOEO-8), 14pP19, 2013. 5. 13-2013. 5. 15, International Conference Center, Waseda University, Tokyo, Japan

金子 健正

- ☆1 【原著論文】 Kensei KANEKO, Katsushi FURUTANI: “Crack-less Electrical Discharge Machining of Molybdenum with Titanium Electrode”, Applied Mechanics and Materials, Vol. 510, pp. 101-105, 2014. 1
- ☆2 【原著論文】 金子健正, 古谷克司: 「モリブデンのクラックレス放電加工 (第1報) –シリコン電極を用いた加工–」, 精密工学会誌, 第80巻2号, pp. 197-202, 2014. 2
- ☆3 【原著論文】 金子健正, 古谷克司: 「モリブデンのクラックレス放電加工 (第2報) –結晶粒の異方性がクラック発生に及ぼす影響–」, 精密工学会誌, 第80巻9号, pp. 873-878, 2014. 9
- 4 【口頭発表】 金子健正, 古谷克司: 「モリブデンのクラックレス放電加工 –チタン電極を用いた加工–」, 電気加工学会全国大会 (2013) 講演論文集, pp. 41-42, 2013. 12
- 5 【口頭発表】 Kensei KANEKO, Katsushi FURUTANI: “Crack-less Electrical Discharge Machining of Molybdenum with Titanium Electrode”, 3rd International Conference on Materials Engineering for Advanced Technologies, pp. 6-7, 2014. 1
- 6 【口頭発表】 金子健正, 古谷克司: 「モリブデンのクラックレス放電加工 (第2報) –結晶粒の異方性がクラック発生に及ぼす影響–」, 精密工学会春季大会学術講演会講演論文集, pp. 1201-1202, 2014. 3

河田 剛毅

- ☆1 【原著論文】 Masataka Shirakashi, Shuichi Yamada, Yoshitaka Kawada and Takero Hirochi: “Blocking of Snow/Water Slurry Flow in Pipeline Caused by Compression-Strengthening of Snow Column, ”, Sustainability, Vol.6, No.2, pp. 530-544, 2014. 1

- 2 【口頭発表】 河田剛毅：「貯雪庫からの流水による冷熱取り出しにおける簡易的手法を用いた性能改善」, 第28回北陸雪氷技術シンポジウム論文集, pp.129-132, 2013.11
- 3 【口頭発表】 河田剛毅, 五十嵐大輔：「貯雪の力学的強度の評価（含水率を変えた実験結果）」, 第26回ふゆトピア研究発表会論文集, pp.64, 2014.1

近藤 俊美

- ☆1 【原著論文】 Kondo Toshimi, Kurabe Yohei, Sasaki Toru, Kurahashi Takahiko, Miyashita Yukio: “Use of strain gages for determining generalized stress intensity factors of sharp V-notched plates under transverse bending”, Engineering Fracture Mechanics, Vol.124, pp.248-261, 2014
- ☆2 【原著論文】 倉橋貴彦, 渡辺裕太郎, 近藤俊美, 古口日出男:「三次元特異性オーダを用いた Akin 特異要素による異材接合体の界面端角部近傍における特異応力場の評価(四面体要素と特異要素使用時の結果の比較)」, 日本機械学会論文集, Vol.80, No.809 pp.1-18, 2014
- ☆3 【原著論文】 Sasaki Toru, Kondo Toshimi, Tane Takeshi: “Analogy of stress singularities analysis between piezoelectric materials and anisotropic materials”, Procedia Material Science, Vol.3, pp.1767-1772, 2014
- ☆4 【原著論文】 佐々木徹, 種健, 近藤俊美:「境界に任意荷重が作用する圧電材料および異方性材料の解析(楕円板問題と楕円孔問題における類似的定式化)」, 日本機械学会論文集, Vol.80, No.815, pp.1-16,2014
- 5 【口頭発表】 渡辺裕太郎, 倉橋貴彦, 近藤俊美, 古口日出男:「Akin の特異要素を用いた FEM による異材接合体に対する三次元特異応力場の評価」, 日本機械学会 北陸信越学生会 第43回学生員卒業研究発表講演会, pp.1-2, 2014
- 6 【口頭発表】 T.Kurahashi, Y.Watanabe, T.Kondo and H.Koguchi: “Study on effect of three dimensional Akin singular element for stress analysis of dissimilar material joints”, 11th WORLD CONGRESS ON COMPUTATIONAL MECHANICS (WCCM2014), Proceedings, pp.1-12, 2014
- 7 【口頭発表】 倉橋貴彦, 近藤俊美, 古口日出男:「数値シミュレーションによる異材接合体の特異応力場の強さの算定」, 日本機械学会 2014 年度年次大会, ワークショップ, 締結・接合のプロセスと接合部・界面の信頼性評価, pp.1-6, 2014
- 8 【口頭発表】 T.Kurahashi, Y.Watanabe, T.Kondo and H.Koguchi: “Effect of Akin singular element for stress singular field of three dimensional bonded structures”, 3rd. International GIGAKU Conference in Nagaoka (IGCN), 2014

佐々木 徹

- 1 【口頭発表】 佐々木徹, 近藤俊美, 種健:「楕円境界に任意荷重が作用する圧電材料および異方性材料の解析」, 日本機械学会 2014 年度年次大会講演論文集, G0310305, 2014.9
- 2 【口頭発表】 種健, 内田武, 佐々木徹, 浜野浩幹:「クラックを有する異方性円柱の応力拡大係数」, 日本機械学会 2014 年度年次大会講演論文集, G0310304, 2014.9
- 3 【口頭発表】 片山晃太郎, 佐々木徹:「楕円孔を有する圧電材料および異方性材料の類似的解析」, 高専一長岡技科大(機械系) 技学セミナーポスター発表会, No.9, 2014.8
- ☆4 【原著論文】 佐々木徹, 種健, 近藤俊美:「境界に任意荷重が作用する圧電材料および異方性材料の解析(楕円板問題と楕円孔問題における類似的定式化)」, 日本機械学会論文集, Vol.80, No.815, pp.1-16, 2014
- ☆5 【原著論文】 Toru SASAKI, Toshimi KONDO, Takeshi TANE: “Analogy of stress singularities analysis between piezoelectric materials and anisotropic materials”, Procedia Materials Science, Elsevier, Vol.3, pp.1767-1772, 2014
- 6 【国際会議】 Toru SASAKI, Toshimi KONDO, Takeshi TANE: “Analogy of stress singularities analysis between piezoelectric materials and anisotropic materials”, The 20th European Conference on Fracture, #618, Trondheim, Norway, 2014.6.30-7.4
- ☆7 【原著論文】 Toshimi Kondo, Yohei Kurabe, Toru Sasaki, Takahiko Kurahashi, Yukio Miyashita: “Use of strain gages for determining generalized stress intensity factors of sharp V-notched plates under transverse bending”, Engineering Fracture Mechanics, Vol.124-125, pp.248-261, 2014.7

- 8 【口頭発表】 佐々木徹：「内部き裂を有する圧電材料および異方性材料の類似的解析」，第17回応用力学シンポジウム講演概要集，pp. 245-246，2014. 5
- 9 【著 書】 中曽根祐司，田中純夫，木村清和，黒瀬雅詞，鈴木拓雄，宮川睦巳，志村穰，佐々木徹：「異方性材料の弾性論」，コロナ社，2014
- 10 【口頭発表】 鈴木秀磨，古口日出男，佐々木徹：「弾塑性接触解析を用いた表面微細パターンを有する面の摩擦特性評価」，日本機械学会 北陸信越支部 第51期総会・講演会，1112，2014. 3
- 11 【口頭発表】 湯川恵太，佐々木徹，古口日出男：「境界要素法を用いたピエゾ接合体の特異応力に対する検討」，日本機械学会 北陸信越支部 第51期総会・講演会，806，2014. 3
- 12 【原著論文】 種健，萬恒平，内田武，佐々木徹，浜野浩幹：「面内荷重を側面に受ける異方性だ円筒の解析」，北九州工業高等専門学校研究報告，第47号，pp. 5-10，2014. 1
- ☆13 【原著論文】 種健，内田武，佐々木徹，木村清和：「側面に任意荷重を受ける異方性だ円柱の解析」，材料，Vol. 61，No. 10，pp. 845-851，2012. 10

山岸 真幸

- ☆1 【原著論文】 宮下大輔，小林裕介，堀純也，記州智美，山岸真幸：「他高専との共同運営によるものづくりコンテストの実施と評価」，長野工業高等専門学校紀要第48号 pp. 2-3：1-4，2014. 6
- 2 【ポスター】 宮下大輔，小林裕介，堀純也，記州智美，山岸真幸：「小型NCフライスを利用した各種ものづくり教育の研究」，平成26年度全国高専教育フォーラム，教育研究活動発表会，P0-A12
- 3 【特 許】 宮下大輔，小林裕介，堀純也，記州智美，山岸真幸：「輪投げロボット教材及び輪投げロボット学習方法」，特願2014- 50844

電気電子システム工学科

片桐 裕則

- 1 【著 書】 片桐裕則：「太陽電池技術ハンドブック」(分担執筆) 第1編 6. 4. 3「日本発の CZTS 系太陽電池」および第2編 18章「CZTS 研究」，オーム社，2013. 5
- 2 【著 書】 片桐裕則：「新太陽エネルギー利用ハンドブック 第V編 太陽光発電技術」(分担執筆) 第2章 6節「CZTS 太陽電池」，一般社団法人 日本太陽エネルギー学会，2013. 12
- ☆3 【原著論文】 Hideaki Araki, Kotaro Chino, Kazuki Kimura, Naoya Aihara, Kazuo Jimbo and Hironori Katagiri: "Fabrication of Cu_2GeS_3 -based thin film solar cells by sulfurization of Cu/Ge stacked precursors", Japanese Journal of Applied Physics, 53, pp.05FW10-1~4, 2014. 4
- ☆4 【原著論文】 Naoya Aihara, Ayaka Kanai, Kazuki Kimura, Manami Yamada, Kotoba Toyonaga, Hideaki Araki, Akiko Takeuchi and Hironori Katagiri: "Sulfurization temperature dependences of photovoltaic properties in Cu_2SnS_3 -based thin-film solar cells", Japanese Journal of Applied Physics, Vol. 53, pp.05FW13-1~5, 2014. 4
- 5 【口頭発表】 Hironori Katagiri: "Development of abundant and non-toxic CZTS solar cells" (Invited Talk), 15th Samahang Pisika ng Visayas at Mindanao Nat. Phys. Conf., Davao, Philippines, 2013. 10. 25
- 6 【口頭発表】 片桐裕則：「CZTS 薄膜太陽電池の高効率化に向けた試行錯誤」(招待講演)，第5回薄膜太陽電池セミナー，2013. 11. 15，名古屋大学野依記念学術交流館
- 7 【口頭発表】 Hironori Katagiri: "Investigation of Rare-Metal Free Thin Film Solar Cells" (Invited Talk), Proceedings of 1st International Conference of Global Network for Innovative Technology, pp.28-30, Penang, Malaysia, 2013. 12. 5
- 8 【口頭発表】 片桐裕則：「硫化法による CZTS 薄膜太陽電池」(招待講演)，日本学術振興会 第145委員会 第136回研究会，2013. 12. 12，明治大学駿河台キャンパス
- 9 【口頭発表】 片桐裕則：「CZTS 太陽電池の現状と課題」(招待講演)，TUT-高専連携プロジェクト 第3回太陽電池合同シンポジウム，2013. 12. 22，木更津高専

- 10 【口頭発表】 田中涼, 鷺尾司, 神保和夫, 片桐裕則: 「CZTS 薄膜太陽電池における CBD-CdS バッファ層の最適化」, TUT-高専連携プロジェクト 第3回太陽電池合同シンポジウム, 2013. 12. 22, 木更津高専
- 11 【口頭発表】 山崎拓, 鷺尾司, 神保和夫, 片桐裕則: 「積層プリカーサを用いた CZTS 薄膜太陽電池」, TUT-高専連携プロジェクト 第3回太陽電池合同シンポジウム, 2013. 12. 22, 木更津高専
- 12 【口頭発表】 片桐裕則: 「Next 次世代を目指す化合物薄膜太陽電池の高性能化」, JST-CREST 第2回公開シンポジウム, 2014. 2. 24, 豊田工業大学
- 13 【口頭発表】 Hironori Katagiri, Kazuo Jimbo and Tsukasa Washio: “Development of Earth-abundant CZTS Thin Film Solar Cells for with Sulfurization Technique” (Invited Talk), 2014 Materials Research Society Spring Meeting, Moscone West Convention Center, San Francisco, CA, USA, 2014. 4. 25
- 14 【口頭発表】 片桐裕則: 「省エネから創エネへ! 雪国長岡発の太陽電池」, サイエンスカフェ, 2014. 6. 6, まちなかキャンパス長岡
- 15 【口頭発表】 Hironori Katagiri, Kazuo Jimbo and Tsukasa Washio: “CZTS Thin Film Solar Cells For PV-Expansion” (Invited Talk), The 3rd International GIGAKU Conference in Nagaoka (IGCN 2014), Nagaoka Univ. of Tech., Nagaoka, Japan, 2014. 6. 22
- 16 【口頭発表】 鷺尾司, 神保和夫, 片桐裕則: 「TG/DTA を用いた CZTS 硫化温度の最適化」, 第11回「次世代の太陽光発電システム」シンポジウム, 宮崎観光ホテル, セッション6 化合物系太陽電池, 予稿集 pp. 47-48, 2014. 7. 4
- 17 【口頭発表】 片桐裕則: 「石の上にも 20 年?? 教育/部活動から大型外部資金獲得まで」, 外部資金獲得セミナー, 2014. 7. 25, 茨城高専 大講義室
- 18 【口頭発表】 Hideaki Araki, Ayaka Kanai, Kotoba Toyonaga, and Hironori Katagiri: “Cu₂SnS₃-BASED SOLAR CELLS WITH CO-EVAPORATED THIN FILMS”, Grand Renewable Energy 2014 International Conference and Exhibition, Tokyo Big Sight, Tokyo, Japan, Program p. 68, Abstracts O-Pv-5-2, 2014. 7. 29
- 19 【口頭発表】 Hironori Katagiri: “Recent Progress and future aspects of CZTS solar cells” (Invited Talk), The 19th International Conference on Ternary and Multinary Compounds, TOKI MESSE-Niigata Convention Center, Niigata, Japan, 2014. 9. 2
- 20 【口頭発表】 Ayaka Kanai, Hideaki Araki, Akiko Takeuchi and Hironori Katagiri: “Annealing temperature dependence of photovoltaic properties of solar cells containing Cu₂SnS₃ thin films produced by co-evaporation”, The 19th International Conference on Ternary and Multinary Compounds, TOKI MESSE-Niigata Convention Center, Niigata, Japan, 2014. 9. 2, Best Young Scientists Award.
- 21 【口頭発表】 Tsukasa Washio, Kazuo Jimbo and Hironori Katagiri: “Optimization of Sulfurization Condition of CZTS Thin Films by TG DTA”, The 19th International Conference on Ternary and Multinary Compounds, TOKI MESSE-Niigata Convention Center, Niigata, Japan, 2014. 9. 4
- 22 【口頭発表】 Hironori Katagiri: “Development of CZTS Thin Film Solar Cells by 2-stage Process” (Invited Talk), Science & Applications of Thin Films Conference & Exhibition, Altin Yunus Resort & Thermal Hotel, Çeşme, Izmir, Turkey, 2014. 9. 16
- 23 【ポスター発表】 大脇佑二郎, 鷺尾司, 神保和夫, 片桐裕則: 「フラッシュランプ併用加熱による CZTS 薄膜の作製」, TUT-高専連携プロジェクト 第3回太陽電池合同シンポジウム, 2013. 12. 22, 木更津高専
- 24 【ポスター発表】 和田直也, 鷺尾司, 神保和夫, 片桐裕則: 「DC スパッタ法を用いた下部電極 Mo の最適化」, TUT-高専連携プロジェクト 第3回太陽電池合同シンポジウム, 2013. 12. 22, 木更津高専
- 25 【ポスター発表】 江平大, 鷺尾司, 神保和夫, 片桐裕則: 「同時蒸着・硫化法による CZTS 薄膜の作製」, TUT-高専連携プロジェクト 第3回太陽電池合同シンポジウム, 2013. 12. 22, 木更津高専

- 26 【ポスター発表】 高橋大地, 鷺尾司, 神保和夫, 片桐裕則:「スパッタ法により作製した硫化物薄膜の光学特性」, TUT-高専連携プロジェクト 第3回太陽電池合同シンポジウム, 2013. 12. 22, 木更津高専
- 27 【ポスター発表】 宗村篤, 鷺尾司, 神保和夫, 片桐裕則:「新規バッファ層を用いた CZTS 薄膜太陽電池」, TUT-高専連携プロジェクト 第3回太陽電池合同シンポジウム, 2013. 12. 22, 木更津高専
- 28 【ポスター発表】 荒木秀明, 金井綾香, 豊永詞, 片桐裕則:「同時蒸着法を用いた CTS 薄膜太陽電池の作製」, 第11回「次世代の太陽光発電システム」シンポジウム, 宮崎観光ホテル, C-5, 予稿集 pp. 141-142, 2014. 7. 3
- 29 【ポスター発表】 和田直也, 神保和夫, 鷺尾司, 片桐裕則:「DC スパッタ法による Mo 薄膜の作製と評価」, 第2回有機・無機エレクトロニクスシンポジウム, 2014. 7. 11, 信州大学工学部
- 30 【ポスター発表】 江平大, 神保和夫, 鷺尾司, 片桐裕則:「同時蒸着・硫化法による CZTS 薄膜の作製」, 第2回有機・無機エレクトロニクスシンポジウム, 2014. 7. 11, 信州大学工学部
- 31 【ポスター発表】 大脇佑二郎, 神保和夫, 鷺尾司, 片桐裕則:「フラッシュランプ併用加熱による CZTS 薄膜の作製」, 第2回有機・無機エレクトロニクスシンポジウム, 2014. 7. 11, 信州大学工学部
- 32 【ポスター発表】 鷺尾司, 神保和夫, 片桐裕則:「CZTS プリカーサにおけるりゅうか課程の TG/DTA」, 第75回応用物理学会秋季学術講演会, 19p-PB3-13, 2014. 9. 19, 北海道大学 札幌キャンパス
- 33 【ポスター発表】 Hideaki Araki, Ayaka Kanai, Kotoba Toyonaga, Naoya Aihara, and Hironori Katagiri: “Fabricating of Cu_2SnS_3 -based photovoltaic cells using dry deposition processes”, 29th European Photovoltaic Solar Energy Conference and Exhibition (EU-PVSEC 2014), RAI Convention & Exhibition Center, Amsterdam, The Netherlands, Visual presentation 3DV.2.9, Programme p.234, 2014. 9. 25
- 34 【ポスター発表】 Ayaka Kanai, Naoya Aihara, Kotoba Toyonaga, Hideaki Araki, Akiko Takeuchi, and Hironori Katagiri: “Improving the Cu_2SnS_3 PV cell efficiency via post treatment of co-evaporated thin films”, 29th European Photovoltaic Solar Energy Conference and Exhibition (EU-PVSEC 2014), RAI Convention & Exhibition Center, Amsterdam, The Netherlands, Programme p.235, Visual presentation 3DV.2.17, 2014. 9. 25

田口 裕二郎

- ☆1 【原著論文】 品田貴裕, 田口裕二郎:「片側短絡プリントアンテナの短絡ピンによるインピーダンスマッチング法」, 電子情報通信学会論文誌 B, Vol. J97-B, No. 2, pp. 202-207, 2014. 2
- 2 【口頭発表】 品田貴裕, 田口裕二郎:「高精度モデルによる片側短絡プリントアンテナの特性解析」, 平成 25 年度電子情報通信学会信越支部大会, 4B-4, 2013. 10

竹内 麻希子

- ☆1 【原著論文】 Naoya Aihara, Ayaka Kanai, Kazuki Kimura, Manami Yamada, Kotoba Toyonaga, Hideaki Araki, Akiko Takeuchi and Hironori Katagiri: “Sulfurization temperature dependences of photovoltaic properties in Cu_2SnS_3 -based thin-film solar cells”, Japanese Journal of Applied Physics, Vol. 53, pp. 05FW13-1~5, 2014. 4
- 2 【口頭発表】 Ayaka Kanai, Hideaki Araki, Akiko Takeuchi, and Hironori Katagiri: “Annealing temperature dependence of photovoltaic properties of solar cells containing Cu_2SnS_3 thin films produced by co-evaporation”, 19th International Conference on Ternary and Multinary Compounds (ICTMC-19), TOKI MESSE: Niigata Convention Center, Niigata, Japan, Tue-0-3A, Book of Abstracts, p.8, 2014. 9. 2, Best Young Scientists Award

- 3 【ホスター発表】 Ayaka Kanai, Naoya Aihara, Kotoba Toyonaga, Hideaki Araki, Akiko Takeuchi, and Hironori Katagiri: “Improving the Cu₂SnS₃ PV cell efficiency via post treatment of co-evaporated thin films”, 29th European Photovoltaic Solar Energy Conference and Exhibition (EU-PVSEC 2014), RAI Convention & Exhibition Center, Amsterdam, The Netherlands, Programme p.235, Visual presentation 3DV.2.17, 2014.9.25

恒岡 まさき

- 1 【原著論文】 土田崇, 恒岡まさき: 「機能用メッシュ接地の周波数特性とその改善に関する検討」, Vol.22, No.12, 2013, 電気設備学会誌
- 2 【特許】 恒岡まさき, 大川慶直, 村野佳大, 土田崇, 岡村浩樹: 「避雷針」, 特許第 5437722 号 (特願 2009-171579) 2013.12.20 登録
- 3 【特許】 恒岡まさき, 竹上栄治: 「直流-直流変換電源」, 特許第 5493300 号 (特願 2008-167967) 2014.3.14 登録
- 4 【口頭発表】 梅澤将充, 小川皓幸, 水落大貴, 恒岡まさき, 土田崇: 「落雷時の B 種接地線への誘導の検討」 II-09, pp27, 第 23 回電気学会東京支部新潟支所大会, 2013
- 5 【口頭発表】 小川皓幸, 梅澤将充, 水落大貴, 恒岡まさき, 土田崇: 「シールド線を用いた独立避雷系の低耐電圧化対策」 II-08, pp26, 第 23 回電気学会東京支部新潟支所大会, 2013
- 6 【口頭発表】 水落大貴, 小川皓幸, 梅澤将充, 恒岡まさき, 土田崇: 「シールド線を用いた独立避雷系による B 種接地線の定在波抑制効果」 II-07, p.25, 第 23 回電気学会東京支部新潟支所大会, 2013
- 7 【口頭発表】 中川悠太郎, 恒岡まさき, 野口一英: 「教育用永久磁石同期モータの製作」 P-13, p.86, 第 23 回電気学会東京支部新潟支所大会, 2013

床井 良徳

- ☆1 【原著論文】 S. Nagasawa, T. Koishi, Y. Tokoi, T. Suzuki, T. Nakayama, H. Suematsu, K. Niihara: “Determining factor of median diameter in intermetallic compound nanoparticles prepared by pulsed wire discharge”, Japanese Journal of Applied Physics, Vol.53, 02BD07, 2014.1
- ☆2 【原著論文】 末松久幸, 床井良徳, 鈴木常生, 中山忠親, 新原浩一: 「パルス放電によるナノ粒子の作製とその粒径制御」, エアロゾル研究, 第 29 号巻第 2 号, pp.16-20, 2014.6
- 3 【報告】 山崎誠, 外山茂浩, 矢野昌平, 床井良徳: 「長岡高専における技術者教育の取り組み」, 北陸信越工学教育協会会報, 第 62 号, pp.37-41, 2014.3
- 4 【講演】 床井良徳, 外川一仁: 「ロボカップ世界大会に参加して」, えちご・ECO 技術同友会, まちなかキャンパス, 2013.12
- 5 【出展】 床井良徳, 荻野美由紀: 「水中細線爆発によるナノスラリーの作製と衝撃波応用に関する研究事例の紹介」, 燕三条ものづくり連携フォーラム, L-2, 燕三条展示会ガイドブック, p.7, 2013.9
- 6 【出展】 床井良徳: 「高速ナノ粒子ガンを用いた金属膜作製装置の開発」, 第 12 回全国高専テクノフォーラム, G-68 機器材料製造・ソフト・システム評価開発, 2014.8
- 7 【出展】 床井良徳, 荻野美由紀: 「高速ナノ粒子ガンによる大気下での金属膜作製技術」, イノベーション・ジャパン 2014, N-14, 2014.9
- 8 【ホスター発表】 鈴木啓, 床井良徳, 中山忠親, 末松久幸: 「パルス液中衝撃波・高圧力の発生と転写加工への応用」, 第 23 回電気学会東京支部新潟支所研究発表会 P-10, 予稿集 p.83, 2013.11
- 9 【ホスター発表】 斎藤光大, 床井良徳, 中山忠親, 末松久幸: 「液中パルス細線放電法における金属ナノ粒子の作製とエネルギー比の影響」, 第 23 回電気学会東京支部新潟支所研究発表会 P-11, 予稿集 p.84, 2013.11
- 10 【ホスター発表】 佐藤拓哉, 床井良徳, 中山忠親, 末松久幸: 「液体窒素中でのナノ粒子合成に関する研究」, 第 23 回電気学会東京支部新潟支所研究発表会 P-08, 予稿集 p.81, 2013.11

中村 奨

- ☆1 【原著論文】 S.Nakamura, K.Itagaki and N.Soma: “Through Hole Forming Method Using a Flowable Backing Material During Pulse UV Laser Radiation”, Journal of Laser Micro/Nanoengineering, Vol.9, No.1, pp.73-78, 2014.3

- 2 【原著論文】 S. Nakamura, T. Miura and M. Tsuta: “Straight Through Hole Drilling in Machinable Ceramics”, Online Proceedings of SLPC2014, SLPC2-3, 2014. 4
- 3 【原著論文】 M. Yamazaki, S. Yano and S. Nakamura: “Cooperative Educational Projects between NIT-Nagaoka and Higher Education Institutions in Asia”, Online Proceedings of ISATE2014, P8, 2014. 9
- 4 【口頭発表】 蔦将哉, 三浦拓巳, 中村奨: 「マシナブルセラミックスへのストレート穴加工」, 第80回レーザー加工学会講演論文集, p. 226, 2013. 12

矢野 昌平

- ☆1 【原著論文】 Washizu, M. , Morioka, S. , Nambu, I. , Yano, S. , Hokari, H. , Wada, Y. : “Improving the Localization Accuracy of Virtual Sound Source Through Reinforcement Learning,” IEEE_SMC_2013, pp. 4378-4383, 2013
- ☆2 【原著論文】 M. Yamazaki, S. Yano and S. Nakamura: “Cooperative Educational Projects between NIT-Nagaoka and Higher Education Institutions in Asia”, Online Proceedings of ISATE2014, P8, 2014. 9
- ☆3 【口頭発表】 M. Sugi, A. Gonzalez, Y. Hagimoto, Y. Hasegawa, I. Nambu, S. Yano, H. Hokari, Y. Wada : “Examination of the time interval shorting in auditory brain-computer interface using virtual sound source”, Proceedings of Life Engineering Symposium 2014 (LE2014), pp. 93-97, 2014
- 4 【口頭発表】 古川貴仁, 矢野昌平: 「頭外音像定位技術を用いた遠隔操縦の支援に関する検討」, 日本音響学会春季研究発表会, 2-P4-18, 2014. 3
- 5 【口頭発表】 萩元裕, 矢野昌平, 穂刈治英, 南部功夫, 和田安弘: 「仮想音源を用いた意図方向推定 BCI における試行間隔の検討」, 信学技法, P. 118, 2013
- 6 【口頭発表】 鷺頭学, 森岡周平, 南部功夫, 矢野昌平, 穂刈治英, 和田安弘: 「受聴者の評価に基づく強化学習を用いた仮想音源定位の精度向上」, 信学技法, P. 119, 2013
- ☆7 【口頭発表】 Makoto Yamazaki, Shouhei Yano and Susumu Nakamura: “Cooperative educational projects between NIT-NAGAOKA and higher education institutions in ASIA,” , ISATE2014, P. 8, 2014. 9
- 8 【口頭発表】 長谷川侑太, 南部功夫, 矢野昌平 穂刈治英, 和田安弘: 「主成分分析を用いた頭部伝達関数のモデル化に関する検討」, 信学技法, P. 109, 2014. 10
- 9 【口頭発表】 鷺頭学, 森岡周平, 矢野昌平, 穂刈治英, 南部功夫, 和田安弘: 「強化学習を用いたダミーヘッドからの個人頭部伝達関数適応に関する検討」, 信学技法, P. 110, 2014. 10
- 10 【口頭発表】 長部航, 南部功夫, 穂刈治英, 矢野昌平, 和田安弘: 「仮想音源を利用した聴覚 BCI の空間分解能向上に関する検討」, 信学技法, P. 116, 2014. 10
- 11 【口頭発表】 杉美帆, Alejandro Gonzalez, 萩元裕, 長谷川侑太, 南部功夫, 矢野昌平, 穂刈治英, 和田安弘: 「仮想音源を用いた聴覚 BCI における試行間隔の検討」, 信学技法 P. 117, 2014. 10
- 12 【報 告】 山崎誠, 外山茂浩, 矢野昌平, 床井良徳: 「長岡高専における技術者教育の取り組み」, 北陸信越工学教育協会会報, 第 62 号, pp. 37-41, 2014. 3

山崎 誠

- ☆1 【口頭発表】 M. Yamazaki, K. Oishi, S. Fukai, S. Hiroi, K. Nakamura, and H. Katagiri: “Photoluminescence and Photoacoustic Study of Cu(In,Ga)S₂ Crystals”, 19th International Conference Ternary and Multinary Compounds, Wed-0-5A, Niigata, 2014. 9
- ☆2 【口頭発表】 K. Oishi, K. Nakamura, M. Yamazaki, S. Fukai, T. Shigeno and H. Katagiri: “Characterization of CuInS₂-Cu₂ZnSnS₄ crystals grown from the melt”, 19th International Conference Ternary and Multinary Compounds, P4-073, Niigata, 2014. 9
- ☆3 【口頭発表】 Makoto Yamazaki, Shouhei Yano and Susumu Nakamura: “Cooperative Educational Projects between NIT-Nagaoka and Higher Education Institutions in Asia”, 8th International Symposium on Advances in Technology Education, P8, Singapore, 2014. 9

- 4 【報 告】 山崎誠, 外山茂浩, 矢野昌平, 床井良徳:「長岡高専における技術者教育の取り組み」, 北陸信越工学教育協会会報, 第 62 号, pp.37-41, 2014.3

電子制御工学科

梅田 幹雄

- 1 【国際会議】 Kosei INOMATA, Kenji KAMIMURA, Masahiro MINAGAWA and Mikio UMEDA: “Initial motion velocity of a steel ball launched by a bimorph piezoelectric element”, 3rd International Symposium on Technology for Sustainability, ID-031, pp.36-37, 2013.11, Hong Kong
- 2 【口頭発表】 松本雄大, 梅田幹雄:「小型超音波トランスデューサを用いた音響放射力によるプロペラ形状ロータの非接触回転特性」, 第 23 回電気学会東京支部新潟支所研究発表会, IV-10, p.60, 2013.11
- 3 【口頭発表】 高橋成也, 梅田幹雄:「圧電素子とコイルを用いた自己発電と磁気誘導による無線送信の試み」, 第 23 回電気学会東京支部新潟支所研究発表会, I-12, p.14, 2013.11.
- 4 【口頭発表】 Yusuke Tsuchida, Mikio Umeda, Masahiro Minagawa: “Mitigation of Roll-Off Property by Controlling the Heterojunction Structure at Interfacing Organic Layers in Organic Light-Emitting Diodes”, IEEE Poster Session on Conference Niigata IEEJ 2013, P-01, p.74, 2013.11 (IEEE Young Researcher Poster Presentation Award)
- 5 【口頭発表】 齋藤和堯, 梅田幹雄, 皆川正寛:「ラビング処理による IT0/MoO₃/α-NPD 界面のホール注入性改善」, 第 23 回電気学会東京支部新潟支所研究発表会, I-05, p.7, 2013.11
- 6 【口頭発表】 先川諒, 梅田幹雄, 皆川正寛:「スクラッチング法による電荷発生型 OFET の ON/OFF 特性の改善」, 第 23 回電気学会東京支部新潟支所研究発表会, I-04, p.6, 2013.11
- 7 【口頭発表】 田村英継, 梅田幹雄, 皆川正寛:「電荷発生領域分離によるオン/オフ比改善の検討」, 電子情報通信学会信越支部大会講演論文集, 8D-2, p.141, 2013.10
- 8 【口頭発表】 三本浩司, 斎木有希, 梅田幹雄, 皆川正寛:「トリアジン誘導体を用いた有機 EL 素子の温度特性評価」, 電子情報通信学会信越支部大会講演論文集, 8D-1, p.140, 2013.11
- 9 【口頭発表】 竹部啓輔, 高橋章, 上村健二, 外山茂浩, 梅田幹雄, 太刀川信一:「アクティブ・ラーニングの実践と課題ー長岡工業高等専門学校電子制御工学科の実践事例ー」, 平成 26 年度独立行政法人国立高等専門学校機構主催関東信越地区教員研究集会, p.13, 2014.9

上村 健二

- ☆1 【口頭発表】 中澤拓史, 高橋章, 上村健二, 若月大輔, 駒形英樹:「拡張現実感を用いた電磁気学の授業支援アプリケーション開発(2)」, 平成 25 年度電子情報通信学会信越支部大会講演論文集, p.90 (6A-3), 2013.10
- 2 【特 許】 菅武志, 上村健二:「プローブ」, 特許第 5390045 号, 2013.10
- 3 【口頭発表】 Kosei INOMATA, Kenji KAMIMURA, Masahiro MINAGAWA, Mikio UMEDA: “Initial motion velocity of a steel ball launched by a bimorph piezoelectric element”, 2013 3rd International Symposium on Technology for Sustainability (ISTS2013), Conference CD-ROM, 2013.11
- 4 【原著論文】 高橋章, 上村健二:「学科 Web ページの運用評価と改定」, 長岡工業高等専門学校研究紀要, 第 49 巻, pp.13-18, 2013.11
- 5 【特 許】 上村健二:「生体光学測定装置および測定プローブ」, 特許第 5439631 号, 2013.12
- 6 【特 許】 上村健二, 後野和弘, 小林至峰, 菅武志, 片倉正弘, 伊藤遼佑:「測定プローブ, 生体光学測定装置および生体光学測定システム」, 特許第 5462424 号, 2014.1

- 7 【報 告】 高橋章, 上村健二:「情報オリンピック予選 (JOI 2013-2014) 参加報告」, 長岡工業高等専門学校総合情報処理センター広報, No. 28, pp. 22-25, 2014. 3
- 8 【口頭発表】 中澤拓史, 高橋章, 上村健二, 若月大輔, 駒形英樹:「拡張現実感を用いた電磁気学の授業支援アプリケーション開発ー授業支援アプリケーションの開発と評価ー」, 2014 年電子情報通信学会総合大会・ISS 特別企画学生ポスターセッション予稿集, p. 40, 2014. 3
- 9 【特 許】 上村健二, 菅武志, 庄野裕基, 高岡秀行, 伊藤遼佑:「光学測定装置および内視鏡システム」, 特許第 5555386 号, 2014. 06
- 10 【口頭発表】 上村健二, 高橋章, 佐藤拓史, 竹部啓輔, 碓氷誠, 渡邊雅博:「課題解決力向上を目的としたプログラミング演習」, 平成 26 年度全国高専教育フォーラム教育研究活動発表概要集, pp. 65-66, 2014. 8
- 11 【口頭発表】 竹部啓輔, 高橋章, 上村健二, 外山茂浩, 梅田幹雄, 太刀川信一:「アクティブ・ラーニングの実践と課題ー長岡工業高等専門学校電子制御工学科の実践事例ー」, 平成 26 年度独立行政法人国立高等専門学校機構主催関東信越地区教員研究集会, p. 13, 2014. 9

佐藤 拓史

- 1 【原著論文】 皆川正寛, 佐藤拓史, 高橋章:「高専生の学習習慣の定着を目指した「学習進捗報告書」の導入と評価」, 長岡工業高等専門学校研究紀要, 第 49 巻, pp. 19-24, 2013. 11
- 2 【口頭発表】 佐藤拓史:「オープンキャンパスにおけるロボットプログラミング」, 第 14 回 SICE システムインテグレーション部門講演会 論文 USB, pp. 2086-2090, 2013. 12
- ☆3 【口頭発表】 上村健二, 高橋章, 佐藤拓史, 竹部啓輔, 碓氷誠, 渡邊雅博:「課題解決力向上を目的としたプログラミング演習」, 平成 26 年度全国高専教育フォーラム教育研究活動発表概要集, pp. 65-66, 2014. 8
- 4 【ポスター発表】 酒井康平, 佐藤拓史:「タブレット端末による車両型ロボットの動作制御」, ロボティクス・メカトロニクス講演会 2014 論文 DVD-ROM, 2A1-S01, 2014. 5
- 5 【ポスター発表】 佐藤馨, 佐藤拓史:「2 自由度制御系による天井クレーンの制振搬送」, ロボティクス・メカトロニクス講演会 2014 論文 DVD-ROM, 2A1-S04, 2014. 5

高橋 章

- 1 【原著論文】 高橋章, 上村健二:「学科 Web ページの運用評価と改訂」, 長岡工業高等専門学校研究紀要, 第 49 号, pp. 13-18, 2013. 11
- 2 【原著論文】 皆川正寛, 佐藤拓史, 高橋章:「高専生の学習習慣の定着を目指した『学習進捗報告書』の導入と評価」, 長岡高専研究紀要, 第 49 号, pp. 19-24, 2013. 11
- 3 【口頭発表】 中澤拓史, 高橋章, 上村健二, 若月大輔, 駒形英樹:「拡張現実感を用いた電磁気学の授業支援アプリケーション開発 (2)」, 平成 25 年度電子情報通信学会信越支部大会・IEEE 信越支部セッション講演論文集, 6A-3, p. 90, 2013. 10
- 4 【口頭発表】 長岡健一, 高橋章, 新開純子, 岡田正:「情報基礎教育教材の電子化と今後の対応」, 大学 ICT 推進協議会 2013 年度年次大会論文集, pp. 234-237, 2013. 12
- 5 【口頭発表】 中澤拓史, 高橋章, 上村健二, 若月大輔, 駒形英樹:「拡張現実感を用いた電磁気学の授業支援アプリケーション開発ー授業支援アプリケーションの開発と評価ー」, 2014 年電子情報通信学会総合大会・ISS 特別企画学生ポスターセッション予稿集, p. 40, 2014. 3
- ☆6 【口頭発表】 上村健二, 高橋章, 佐藤拓史, 竹部啓輔, 碓氷誠, 渡邊雅博:「課題解決力向上を目的としたプログラミング演習」, 平成 26 年度全国高専教育フォーラム教育研究活動発表概要集, pp. 65-66, 2014. 8
- 7 【報 告】 高橋章:「大学 ICT 推進協議会 2013 年度年次大会参加報告」, 長岡高専総合情報処理センター広報, No. 28, pp. 19-21, 2014
- 8 【報 告】 高橋章, 上村健二:「情報オリンピック予選 (JOI 2013-2014) 参加報告」, 長岡高専総合情報処理センター広報, No. 28, pp. 22-25, 2014
- 9 【改訂・編集】 高橋章ほか(長岡高専・情報処理共通化ワーキンググループ):「情報処理の基礎ーエンジニアの卵たちへー」, 平成 26 年度版, vi+157 ページ, 2014. 4
- 10 【ソフトウェア開発】 高橋章:「NNCT 柔道タイマー2014」(長岡工業高等専門学校学生会柔道部), <http://www.nagaoka-ct.ac.jp/st/judo/JudoTimer2014.html>

竹部 啓輔

- 1 【口頭発表】 和田元輝, 河谷諒平, 古田島裕斗, 高山貴宏, 竹部啓輔, 佐藤秀一:「英語多読教育支援システムの構築(1)」, 第19回高専シンポジウム in 久留米 講演要旨集, p. 192, 2014. 1
- 2 【口頭発表】 古田島裕斗, 河谷諒平, 高山貴宏, 和田元輝, 竹部啓輔, 佐藤秀一:「英語多読教育支援システムの構築(2)」, 第19回高専シンポジウム in 久留米 講演要旨集, p. 193, 2014. 1
- 3 【口頭発表】 高山貴宏, 河谷諒平, 古田島裕斗, 和田元輝, 竹部啓輔, 佐藤秀一:「英語多読教育支援システムの構築(3)」, 第19回高専シンポジウム in 久留米 講演要旨集, p. 194, 2014. 1
- 4 【口頭発表】 河谷諒平, 古田島裕斗, 高山貴宏, 和田元輝, 竹部啓輔, 佐藤秀一, 大湊佳宏:「英語多読教育支援システムの構築(4)」, 第19回高専シンポジウム in 久留米 講演要旨集, p. 195, 2014. 1
- 5 【口頭発表】 上村健二, 高橋章, 佐藤拓史, 竹部啓輔, 碓氷誠, 渡邊雅博:「課題解決力向上を目的としたプログラミング演習」, 平成26年度全国高専教育フォーラム教育研究活動発表概要集, p. 65-66, 2014. 8
- 6 【口頭発表】 竹部啓輔, 高橋章, 上村健二, 外山茂浩, 梅田幹雄, 太刀川信一:「アクティブ・ラーニングの実践と課題ー長岡工業高等専門学校電子制御工学科の実践事例ー」, 平成26年度独立行政法人国立高等専門学校機構主催関東信越地区教員研究集会, p. 13, 2014. 9
- 7 【口頭発表】 竹部啓輔:「学力不足の学生への対応についてー図書館による学習支援の紹介ー」, 平成26年度独立行政法人国立高等専門学校機構主催関東信越地区教員研究集会, p. 28, 2014. 9

太刀川 信一

- ☆1 【原著論文】 Shin'ichi TACHIKAWA, Hayato NOGUCHI: "Performances of Code-Diversity with a Novel Spreading Sequence in DS/CDMA Communication Systems," Journal of Telecommunications (JOT), Vol. 22, Issue 1, October 2013, pp.1-6, 2013. 10. 31
- 2 【口頭発表】 戸田将平, 太刀川信一:「OFDMを用いたMC/CDMA通信方式の性能の検討」, 平成25年度(第23回)電気学会東京支部新潟支所研究発表会, IV-13, p. 63, 2013. 11. 9
- 3 【口頭発表】 金子舜, 太刀川信一:「DD系列によるDS/CDMA符号ダイバーシチ送受信器の試作と検討」, 平成25年度(第23回)電気学会東京支部新潟支所研究発表会, IV-14, p. 64, 2013. 11. 9
- 4 【口頭発表】 五十嵐裕也, 関口湊, 太刀川信一:「電波伝搬強度と符号ダイバーシチの干渉波抑圧効果」, 平成25年度(第23回)電気学会東京支部新潟支所研究発表会, IV-15, p. 65, 2013. 11. 9
- 5 【口頭発表】 竹部啓輔, 高橋章, 上村健二, 外山茂浩, 梅田幹雄, 太刀川信一:「アクティブ・ラーニングの実践と課題ー長岡工業高等専門学校電子制御工学科の実践事例ー」, 平成26年度独立行政法人国立高等専門学校機構主催関東信越地区教員研究集会, p. 13, 2014. 9
- 6 【報 告】 太刀川信一:「情報処理・計算機シミュレーションの不思議(擬似乱数)」, 総合情報処理センター広報, No. 28, 2014年3月, p. 0, 2014. 3. 31
- 7 【報 告】 太刀川信一:「平成25年度関東信越地区高等専門学校情報処理教育研究委員会報告」, 総合情報処理センター広報, No. 28, 2014年3月, pp. 17-18, 2014. 3. 31

外川 一仁

- 1 【原著論文】 伊藤直幸, 外川一仁, 柳和久, 清野慧, 田中秀岳:「参照平板の横シフトおよび逐次二点法を用いた真直度輪郭測定」, 精密工学会誌, Vol. 80, No. 1. pp75-80, 2014. 1
- 2 【原著論文】 涌田和芳, 外川一仁:「与板八幡宮の紛失算額(3)」, 長岡工業高等専門学校研究紀要, 第49巻, pp. 1-6, 2013. 11
- 3 【原著論文】 涌田和芳, 外川一仁:「三条本成寺の紛失算額」, 長岡工業高等専門学校研究紀要, 第49巻, pp. 7-11, 2013. 11
- 4 【口頭発表】 星野結人, 外川一仁, 柳和久, 原司:「参照平板の横シフトおよび逐次二点法を用いた真直度輪郭測定(第2報)ー放物線誤差の補正法に関する比較検討ー」, 2014年度精密工学会春季大会学術講演会(CD-ROM), ROMBUNNO. N46, 2014. 3

外山 茂浩

- ☆1 【原著論文】 外山茂浩, 池田富士雄: 「記述関数法によるセミアクティブサスペンションのスライディングモード制御」, 日本機械学会論文集 C 編, Vol. 79, No. 808, pp. 4984-4993, 2013
- ☆2 【原著論文】 Shigehiro Toyama, Kouhei Iihama, Fujio Ikeda, Hiroaki Seta, Nobuo Ezaki : “Operability Evaluation of Pleasure Boats Based on Usability as Addressed by ISO 9241-11” , Journal of System Design and Dynamics, Vol. 7, No. 4, pp. 378-392, 2013
- ☆3 【著 書】 Shigehiro Toyama, Makoto Yokoyama, Fujio Ikeda : “Design of Sliding Mode Controller for Semi-Active Suspension Systems with Magnetorheological Dampers” , Handbook of Vehicle Suspension Control, Chap. 9, Ed. Honghai Liu, The Institution of Engineering and Technology, 2013
- ☆4 【口頭発表】 Shigehiro Toyama, Fujio Ikeda, Honghai Liu : “Integral Sliding Mode Control for Active Suspension Systems of Half-Vehicle Model” , The 12th International Conference on Motion and Vibration Control, 1B34, 2014. 8
- ☆5 【口頭発表】 Fujio Ikeda, Shigehiro Toyama, Toshio Kumota, Takashi Yanagisawa : “Development of sewer pipe inspection vehicle using integrated sensing system” , The 12th International Conference on Motion and Vibration Control, 3C25, 2014. 8
- 6 【口頭発表】 外山茂浩, 宮腰和弘, 田崎裕二: 「長岡高専におけるエンジニアリングデザイン教育指導体制の構築」, Dynamics and Design Conference 2014, 525, 2014. 8
- 7 【報 告】 山崎誠, 外山茂浩, 矢野昌平, 床井良徳: 「長岡高専における技術者教育の取り組み」, 北陸信越工学教育協会会報, 第 62 号, p. 37-41, 2014. 3.
- 8 【口頭発表】 竹部啓輔, 高橋章, 上村健二, 外山茂浩, 梅田幹雄, 太刀川信一: 「アクティブ・ラーニングの実践と課題 —長岡工業高等専門学校電子制御工学科の実践事例—」, 平成 26 年度独立行政法人国立高等専門学校機構主催関東信越地区教員研究集会, p. 13, 2014. 9
- 9 【報 告】 外山茂浩: 「英国ポーツマス大学留学報告」, 日本機械学会機械力学・計測制御部門ニュースレター, No. 53, p. 9-11, 2014

皆川 正寛

- ☆1 【原著論文】 M. Minagawa, K. Mitsumoto, H. Matsumoto : “Reducing the Driving Voltage of Organic Light-Emitting Diodes by Inserting a Transparent Ultrathin Layer of Oxidized Silver as a Hole-Injecting Layer” , Org. Electron. Vol. 15, pp. 2346-2354
- 2 【原著論文】 皆川正寛, 佐藤拓史, 高橋章: 「高専生の学習習慣の定着を目指した『学習進捗報告書』の導入と評価」, 長岡工業高等専門学校研究紀要, pp. 19-24, 2013
- 3 【ポスター発表】 Y. Tsuchida, M. Umeda and M. Minagawa: “Mitigation of Roll-Off Property by Controlling the Heterojunction Structure at Interfacing Organic Layers in Organic Light-Emitting Diodes” , IEEE Session at the IEEJ Tokyo Section, Niigata Chapter Technical Meeting Organized by the IEEE Shin-etsu Section, No. IEEE-01 , 2013. 11 , ※IEEE Shin-etsu Section 2013 Young Researcher Poster Presentation Award.
- ☆4 【口頭発表】 K. Inomata, K. Kamimura, M. Minagawa, and M. Umeda : “ Initial motion velocity of a steel ball launched by a bimorph piezoelectric element” , 3rd International Symposium on Technology for Sustainability, No. 20-P2-ID31 2013. 11
- ☆5 【口頭発表】 K. Takahashi, and M. Minagawa : “Improvement in the Roll-Off Property by Reducing Carrier Accumulation between Organic Layers in an OLED” , 3rd International Symposium on Technology for Sustainability, No. 20-P2-ID42 2013. 11

- ☆6 【ポスター発表】 Hidetsugu Tamura, Masahiro Minagawa, Ryo Sakikawa, Itsuki Ikarashi, Kazunari Shinbo, Akira Baba, Keizo Kato, Futao Kaneko, : “Improvement of on/off ratio in organic field-effect transistor having thin molybdenum trioxide layer”, The 8th International Symposium on Organic Molecular Electronics (ISOME 2014), No.P-37, 2014. 5
- 7 【口頭発表】 三本浩司, 齋木有希, 梅田幹雄, 皆川正寛:「トリアジン誘導体を用いた有機 EL 素子の温度特性評価」, 電子情報通信学会信越支部大会, 8D-1, 長岡技大, 2013.10
- 8 【口頭発表】 田村英継, 梅田幹雄, 皆川正寛:「電荷発生領域分離によるオン/オフ比改善の検討」, 電子情報通信学会信越支部大会, 8D-2, 長岡技大, 2013.10
- 9 【口頭発表】 先川諒, 梅田幹雄, 皆川正寛:「スクラッチング法による電荷発生型 OFET の ON/OFF 特性の改善」, 第 23 回電気学会東京支部新潟支所研究発表会, No. I-04, 2013.11
- 10 【口頭発表】 齋藤和堯, 梅田幹雄, 皆川正寛:「ラビング処理による ITO/MoO₃/α-NPD 界面のホール注入性改善」, 第 23 回電気学会東京支部新潟支所研究発表会, No. I-05, 2013.11
- 11 【口頭発表】 薄葉俊, 皆川正寛, 馬場暁, 新保一成, 加藤景三, 金子双男:「Pentacene/V205 共蒸着層を有する電荷発生型 OFET の作製と評価」, 第 61 回応用物理学会春季学術講演会, No. 20a-E3-8, 2014. 3
- 12 【ポスター発表】 高橋克哉, 皆川正寛:「化学ドーピング法を用いた有機 EL 素子の高効率化」, 電子情報通信学会総合大会 情報・システムソサエティ特別企画 No. ISS-P-141, 2014. 3
- 13 【ポスター発表】 三本浩司, 南海舟, 皆川正寛:「酸化銀超薄膜挿入による有機 EL 素子の低電圧化」, 電子情報通信学会総合大会 情報・システムソサエティ特別企画 No. ISS-P-142, 2014. 3
- 14 【ポスター発表】 土田祐介, 皆川正寛:「エネルギー構造制御による有機 EL 素子のロールオフ特性改善」, 電子情報通信学会総合大会, 情報・システムソサエティ特別企画, No. ISS-P-143, 2014. 3
- 15 【ポスター発表】 長谷川岳志, 皆川正寛:「バルクヘテロ型有機薄膜太陽電池の温度特性改善」, 電子情報通信学会総合大会 情報・システムソサエティ特別企画 No. ISS-P-144, 2014. 3
- 16 【ポスター発表】 田村英継, 先川諒, 五十嵐維月, 皆川正寛:「ラビング処理による電荷発生型 OFET のオンオフ特性の改善」, 電子情報通信学会総合大会 情報・システムソサエティ特別企画 No. ISS-P-145, 2014. 3
- 17 【ポスター発表】 長谷川希望, 皆川正寛:「D/E インバーター開発に向けたデプレッション型 OFET の開発」, 電子情報通信学会総合大会 情報・システムソサエティ特別企画 No. ISS-P-146, 2014. 3
- 18 【特 許】 皆川正寛:「有機 EL 素子の製造方法」, 特許-5446506 号, 2014. 1. 10
- 19 【報 告】 皆川正寛, 長谷川希望:「Pentacene を用いたトップコンタクト型 OFET の活性層膜厚特性」, 創造性を育む「卒業研究」集 平成 25 年度版, 独立行政法人 国立高等専門学校機構教育・FD委員会, p. 79, 2014. 9

物質工学科

赤澤 真一

- 1 【原著論文】 渡邊俊則, 赤澤真一, 疋田彰:「新規ミミズ凍結乾燥粉末の有効性の検討」, FOOD Style 21, 食品化学新聞社, vol. 18, No. 3, pp. 19-21, 2014
- 2 【外国出願】 赤澤真一, 脇本真之介, 渡邊俊則:「ミミズ乾燥粉末製造方法」, 出願番号 201410440464. 4 (中国), 出願日: 2014. 9. 1
- 3 【外国出願】 赤澤真一, 脇本真之介, 渡邊俊則:「ミミズ乾燥粉末製造方法」, 出願番号 103129700 (台湾), 出願日: 2014. 8. 28
- 4 【外国出願】 赤澤真一, 脇本真之介, 渡邊俊則:「ミミズ乾燥粉末製造方法」, 出願番号 14/466, 018 (米国), 出願日: 2014. 8. 22

- 5 【特 許】 赤澤真一，脇本真之介，渡邊俊則：「ミミズ乾燥粉末製造方法」，特許第 5548931 号，設定登録日：2014. 5. 30
- 6 【特 許】 赤澤真一，脇本真之介，渡邊俊則：「ミミズ乾燥粉末製造方法」，特許第 5505750 号，設定登録日：2014. 3. 28
- 7 【特 許】 赤澤真一，脇本真之介，渡邊俊則：「ミミズ乾燥粉末製造方法」，出願番号 特願 2014-042411 号，原出願日：2014. 3. 5
- 8 【口頭発表】 赤澤真一，徳山遥香，横山圭佑，渡邊俊則，脇本真之介，金子信博：「高圧処理したミミズに含まれる各種酵素活性及び生菌数変化について」，日本農芸化学会，2014. 3，講演番号 3B02a13，神奈川
- 9 【ポスター発表】 加島徳人，村山隼人，石橋卓，赤澤真一：「ミミズ分泌タンパク質の解析と転写調節領域のクローニング」，日本化学会関東支部新潟地域発表会，2013. 11，講演番号 P25，要旨集 p. 87，長岡技術科学大学
- 10 【ポスター発表】 佐藤俊輔，横山圭佑，赤澤真一：「ミミズが有する糖質・脂質加水分解酵素の諸性質の解析」，日本化学会関東支部新潟地域発表会，2013. 11，講演番号 P24. 要旨集 p. 86，長岡技術科学大学
- 11 【ポスター発表】 水内敬太，徳山遥香，赤澤真一：「土壌小動物含有糖質加水分解酵素の圧力耐性の検討及びクローニング」，日本化学会関東支部新潟地域発表会，2013. 11，講演番号 P44，要旨集 p. 106，長岡技術科学大学

荒木 秀明

- ☆1 【原著論文】 Naoya Aihara, Ayaka Kanai, Kazuki Kimura, Manami Yamada, Kotoba Toyonaga, Hideaki Araki, Akiko Takeuchi, Hironori Katagiri : “Sulfurization temperature dependences of photovoltaic properties in Cu_2SnS_3 -based thin-film solar cells” , Japanese Journal of Applied Physics, Vol. 53, pp. 05FW13-1~5, 2014. 4
- ☆2 【原著論文】 Hideaki Araki, Kotaro Chino, Kazuki Kimura, Naoya Aihara, Kazuo Jimbo, Hironori Katagiri : “Fabrication of Cu_2GeS_3 -based thin film solar cells by sulfurization of Cu/Ge stacked precursors” , Japanese Journal of Applied Physics, Vol. 53, pp. 05FW10-1-4 , 2014. 4
- 3 【依頼講演】 荒木秀明：「In-Free 太陽電池のあれこれ」，JSPS 第 175 委員会「化合物薄膜太陽電池分科会」第 2 回研究会，長岡，2013. 12. 13
- 4 【口頭発表】 金井綾香，荒木秀明：「同時蒸着法による Cu_2SnS_3 薄膜太陽電池の作製」，第 3 回高専-TUT 太陽電池合同シンポジウム(木更津高専)，要旨集 講演番号 4，2013. 12. 22，優秀発表賞
- 5 【口頭発表】 荒木秀明：「さきがけ成果結集プロジェクト：ペロブスカイトを用いた高効率有機-無機ハイブリッド太陽電池の創成と機構解明」，第四回次世代太陽電池研究会，和倉温泉加賀屋会議室，2014. 1. 26
- 6 【口頭発表】 荒木秀明，金井綾香，栗飯原直也，豊永詞：「レアメタルフリー化合物系薄膜太陽電池の作製」，産学連携環境エネルギーシンポジウム 2014，講演論文集 講演④，小山高専，2014. 1. 25
- 7 【口頭発表】 Hideaki Araki, Ayaka Kanai, Kotoba Toyonaga, and Hironori Katagiri : “ Cu_2SnS_3 -BASED SOLAR CELLS WITH CO-EVAPORATED THIN FILMS” , Grand Renewable Energy 2014 International Conference and Exhibition, Tokyo Big Sight, Tokyo, Japan, Program p. 68, Abstracts 0-Pv-5-2, 2014. 7. 29.
- 8 【口頭発表】 A. Kanai, H. Araki, A. Takeuchi, and H. Katagiri : “Annealing temperature dependence of photovoltaic properties of solar cells containing Cu_2SnS_3 thin films produced by co-evaporation” , 19th International Conference on Ternary and Multinary Compounds (ICTMC-19), TOKI MESSE: Niigata Convention Center, Niigata, Japan, Tue-0-3A, Book of Abstracts, p. 8, 2014. 9. 2., Best Young Scientists Award

- 9 【ポスター発表】 Hideaki Araki, Naofumi Takahashi, Naoya Aihara, Kotoba Toyonaga : “The vacuum-free preparation of Cu_2SnS_3 thin films by the sulfurization of precursors deposited using metal-organic decomposition”, 23rd International Photovoltaic Science and Engineering Conference (PVSEC-23), Taipei, Taiwan, Technical Digest, 3-P-57 (2013), 2013.10.31
- 10 【ポスター発表】 Kotoba Toyonaga, Naoya Aihara, Ayaka Kanai, Kazuki Kimura, Manami Yamada, Hideaki Araki : “Fabrication of $\text{Cu}_2\text{Si}_x\text{Sn}_{1-x}\text{S}_3$ thin films for solar cells by sulfurization of Si/Cu/Sn precursors”, 23rd International Photovoltaic Science and Engineering Conference (PVSEC-23), Taipei, Taiwan, Technical Digest, 3-P-58 (2013), 2013.10.31
- 11 【ポスター発表】 豊永詞, 栗飯原直也, 荒木秀明 : 「 $\text{Cu}_2\text{Si}_x\text{Sn}_{1-x}\text{S}_3$ の作製と評価」, 平成 25 年度日本化学会関東支部新潟地域研究発表会, 高分子学会北陸支部研究発表会, 2013 年支部合同新潟地方大会 -長岡-, 長岡技術科学大学, 講演要旨 p.66, 2013.11.16
- 12 【ポスター発表】 金井綾香, 栗飯原直也, 豊永詞, 荒木秀明 : 「同時蒸着法による Cu_2SnS_3 薄膜の作製」, 日本化学会関東支部新潟地域研究発表会, 高分子学会北陸支部研究発表会, 2013 年支部合同新潟地方大会 -長岡-, 長岡技術科学大学, 講演要旨 p.107, 2013.11.16, ポスターデザイン賞
- 13 【ポスター発表】 金井綾香, 栗飯原直也, 豊永詞, 荒木秀明 : 「同時蒸着法を用いた Cu_2SnS_3 薄膜太陽電池の作製」, 応用物理学会 多元系化合物・太陽電池研究会, 宇宙航空研究開発機構 筑波宇宙センター, 予稿集 P-29, 2013.11.22
- 14 【ポスター発表】 Hideaki Araki, Ayaka Kanai, Naoya Aihara, Kotoba Toyonaga : “Preparation of Cu_2SnS_3 Thin Films by Co-Evaporation”, 2013 Materials Research Society (MRS) Fall Meeting, Boston, USA, Z10.39, 2013.12.5
- 15 【ポスター発表】 荒木秀明 : 「レアメタルフリー新型薄膜系薄膜太陽電池の開発」, 第 2 回領域公開シンポジウム, シンポジウム要旨集 p.47, UDX ギャラリーネクスト(秋葉原 UDX4F), 東京, 2013.12.9
- 16 【ポスター発表】 後藤祐輔, 田中久仁彦, 打木久雄, 栗飯原直也, 荒木秀明 : 「 Cu_2SnS_3 薄膜の光学特性の解析」, 平成 25 年度 日本物理学会新潟支部第 42 回例会 要旨集 2, 新潟大学, 2013.12.14
- 17 【ポスター発表】 栗飯原直也, 荒木秀明 : 「電解めっきプリカーサの硫化による $\text{Cu}_2\text{ZnSnS}_4$ 薄膜太陽電池の作製」, 第 3 回高専-TUT 太陽電池合同シンポジウム (木更津高専), 要旨集 発表番号 8, 2013.12.22
- 18 【ポスター発表】 豊永詞, 荒木秀明 : 「 $\text{Cu}_2\text{Si}_x\text{Sn}_{1-x}\text{S}_3$ の作製と評価」, 第 3 回高専-TUT 太陽電池合同シンポジウム (木更津高専), 要旨集 発表番号 11, 2013.12.22
- 19 【ポスター発表】 木村和貴, 荒木秀明 : 「 Cu_2GeS_3 薄膜太陽電池の作製と太陽電池への応用」, 第 3 回高専-TUT 太陽電池合同シンポジウム (木更津高専), 要旨集 発表番号 12, 2013.12.22
- 20 【ポスター発表】 山田愛美, 荒木秀明 : 「非真空プロセスによる CTS 薄膜太陽電池の作製」, 第 3 回高専-TUT 太陽電池合同シンポジウム(木更津高専), 要旨集 発表番号 13, 2013.12.22
- 21 【ポスター発表】 江部日南子, 荒木秀明 : 「ペロブスカイト太陽電池の試作」, 第 3 回高専-TUT 太陽電池合同シンポジウム (木更津高専), 要旨集 発表番号 24, 2013.12.22
- 22 【ポスター発表】 荒木秀明, 金井綾香, 豊永詞, 片桐裕則 : 「同時蒸着法を用いた CTS 薄膜太陽電池の作製」, 第 11 回「次世代の太陽光発電システム」シンポジウム, 宮崎観光ホテル, C-5, 予稿集 pp.141-142, 2014.7.3
- 23 【ポスター発表】 H. Ebe and H. Araki : “Fabrication of Hybrid Perovskite Solar Cells Using Gas-Phase Reaction”, 19th International Conference on Ternary and Multinary Compounds (ICTMC-19), TOKI MESSE: Niigata Convention Center, Niigata, Japan, P4-083, Book of Abstracts, p.160 (2014), 2014.9.2
- 24 【ポスター発表】 K. Toyonaga and H. Araki : “Preparation and characterization of $\text{Cu}_2\text{Si}_x\text{Sn}_{1-x}\text{S}_3$ ”, 19th International Conference on Ternary and Multinary Compounds (ICTMC-19), TOKI MESSE: Niigata Convention Center, Niigata, Japan, P4-066, Book of Abstracts, p143 (2014), 2014.9.3

- 25 【ポスター発表】 Hideaki Araki, Ayaka Kanai, Kotoba Toyonaga, Naoya Aihara, and Hironori Katagiri : “Fabricating of Cu₂SnS₃-based photovoltaic cells using dry deposition processes”, 29th European Photovoltaic Solar Energy Conference and Exhibition (EU-PVSEC 2014), RAI Convention & Exhibition Center, Amsterdam, The Netherlands, Visual presentation 3DV.2.9, Programme p.234, 2014.9.25
- 26 【ポスター発表】 Ayaka Kanai, Naoya Aihara, Kotoba Toyonaga, Hideaki Araki, Akiko Takeuchi, and Hironori Katagiri : “Improving the Cu₂SnS₃ PV cell efficiency via post treatment of co-evaporated thin films”, 29th European Photovoltaic Solar Energy Conference and Exhibition (EU-PVSEC 2014), RAI Convention & Exhibition Center, Amsterdam, The Netherlands, Programme p.235, Visual presentation 3DV.2.17, 2014.9.25
- 27 【講師】 菅原正義, 荒木秀明: まちなかカフェ「大人の科学実験・電子顕微鏡で見るミクロの世界」, 長岡工業高等専門学校, 2014.1.18
- 28 【講師】 荒木秀明: 「LEVEL2 化合物太陽電池「銅・スズ・硫化物 MIX でつくるエコ太陽電池」, JST 太陽電池キャラバン 太陽電池学で語る未来 in 神戸, 神戸大学百年記念館六甲ホール, 2014.2.1
- 29 【講師】 菅原正義, 荒木秀明: 三島公民館ふるさとセミナー8月講座「液体窒素の冷たく美味しい低温の世界」, みしまコミュニティーセンター工作室, 2014.8.23
- 栗野 一志**
- 1 【著書】 栗野一志, 瀬川透: 「少しはやる気がある人のための自学自修用 有機化学問題集」, 裳華房, 2014.4
- 2 【資料】 栗野一志: 「単語の成り立ちを理解して覚える英単語記憶術」, pp.143, 2013.9
- 奥村 寿子**
- 1 【口頭発表】 高山しおり, 奥村寿子, 細川陽子, 菅原正義 : 「湿熱処理による高アミロース米糠成分の胚乳への移行」, 日本食品科学工学会第 61 大会, 3Aa4, p.103, 2014.8
- 2 【口頭発表】 奥村寿子, 菅原正義: 「高アミロース米の抗酸化成分に対する湿熱処理の影響」, 第 28 回日本分析化学会関東支部新潟地区部会研究発表会, 2014.9
- 河本 絵美**
- 1 【口頭発表】 河本絵美, 越中敬一, 吉村達彦, 川中健太郎: 「不活動誘発性骨格筋インスリン抵抗性は JNK の活性化にもなって引き起こされる」, 第 69 回日本体力医学会(長崎), 予稿集 0-15 1G-18, 2014.9
- 小出 学**
- ☆1 【原著論文】 Kazuhiro Kawamura, Manabu Koide and Kazumasa Matusita: “Evaluation of Temperature Dependence of Viscosity and Crystallization Time for Japanese HLW Glass”, Atomic Energy Society of Japan, Vol.13, No.1, pp.27-33, 2014
- 2 【学会発表】 加藤正直, 小出学, 工藤志緒, 大幸裕介, 佐藤智宏: 「SPS 法によって作成されたアルミノシリケート型固体電解質」, 日本化学会第 94 春季大会, 1PC-202, 2014
- 坂井 俊彦**
- 1 【口頭発表】 Vanadian Astari Suci Atina, 安部百恵, 坂井俊彦: 「有機薄膜太陽電池への酸化チタン微粒子層導入の効果」, 日本化学会関東支部・高分子学会北陸支部 支部合同新潟地方大会, 2013.11
- 2 【口頭発表】 渡邊響子, 坂井俊彦: 「ナトリウムゲルマン酸塩ガラスの分子動力学シミュレーション」, 日本セラミックス協会東北北海道支部研究発表会, 2013.10
- 菅原 正義**
- ☆1 【原著論文】 Yuji Tasaki, Keiko Kozuka, Kazumi Mochida and Masayoshi Sugawara : “Effect of sawdust-based spent mushroom substrate treated with steam on rat growth performance”, Food Science and Technology, Vol. 20, No. 2, pp.493-497, 2014

- ☆2 【原著論文】 Yuji Tasaki, Ryoji Sato, Shungo Toyama, Keisuke Kasahara, Yuto Ona, Masayoshi Sugawara: “Cloning of glyceraldehyde-3-phosphate dehydrogenase genes from the basidiomycete mushroom *Pleurotus ostreatus* and analysis of their expression during fruit-body development”, *Micoscience*, Vol. 55, pp. 280-288, 2014
- 3 【解説】 菅原正義:「高アミロース米の湿熱処理による改質」, 食品工業 (光琳), Vol. 57, No. 2, 2014
- 4 【口頭発表】 広川卓也, 牧野理紗, 金山広輝, 榎康明, 峰尾茂, 荻野美由紀, 菅原正義:「湿熱処理高アミロース玄米の通常及び便秘モデルラット投与における消化管通過時間への影響」, 日本食物繊維学会第 18 回学術集会, ルミナコイド研究, Vol. 17, pp. S72, 2013. 11
- 5 【ポスター発表】 広川卓也, 榎康明, 峰尾茂, 荻野美由紀, 菅原正義:「湿熱処理高アミロース玄米による消化管通過時間への影響」, 日本化学会関東支部・高分子学会北陸支部合同新潟地方大会一長岡一, P38, 2013. 11
- 6 【口頭発表】 高山しおり, 奥村寿子, 細川陽子, 菅原正義:「湿熱処理による高アミロース米糠成分の胚乳への移行」, 日本食品科学工学会第 61 回大会, 3Aa4, 2014. 8
- 7 【口頭発表】 奥村寿子, 菅原正義:「高アミロース米の抗酸化成分に対する湿熱処理の影響」, 日本分析化学会第 28 回新潟地区部会研究発表会, 2014. 9
- 8 【招待講演】 榎康明, 田邊学, 金子愛, 峰尾茂, 菅原正義:「湿熱処理高アミロース米の開発とその生理機能評価」, 日本応用糖質科学会第 63 回大会第 3 回応用糖質フレッシュシンポジウム, FS4, 2014. 9
- 9 【特許出願】 榎康明, 峰尾茂, 菅原正義:「便通改善作用を有する加工 (玄) 米の製造方法及び、その加工品」, 特許出願 2013-238600, 2013
- 10 【シズ発表】 菅原正義:「湿熱処理を用いた血糖値上昇の穏やかな米と災害用 α 米の開発」, イノベーション・ジャパン 2013, 2013. 8
- 11 【シズ発表】 菅原正義:「血糖値の上昇を抑える「湿熱処理技術」を利用した食品の開発」, 第 3 回おた研究・開発フェア, 2013. 10

鈴木 秋弘

- ☆1 【原著論文】 R. Nishimura, T. Shibata, I. Ishigami, T. Ogura, H. Tai, S. Nagao, T. Matsuo, S. Hirota, O. Shoji, Y. Watanabe, K. Imai, S. Neya, A. Suzuki, and Y. Yamamoto: “Electronic Control of Discrimination between O_2 and CO in Myoglobin Lacking the Distal Histidine Residue”, *Inorg. Chem.*, Vol. 53, 1091-1099, 2014
- ☆2 【原著論文】 R. Nishimura, T. Shibata, H. Tai, I. Ishigami, S. Yanagisawa, T. Ogura, S. Neya, A. Suzuki, and Y. Yamamoto: “Effect of the Electron Density of the Heme Fe Atom on the Fe-Histidine Coordination Bond in Deoxy Myoglobin”, *Bull. Chem. Soc. Jpn.*, Vol. 87, 905-911, 2014
- ☆3 【原著論文】 R. Nishimura, D. Matsumoto, T. Shibata, S. Yanagisawa, T. Ogura, H. Tai, T. Matsuo, S. Hirota, S. Neya, A. Suzuki, and Y. Yamamoto, “Electronic Control of Ligand-Binding Preference of a Myoglobin Mutant”, *Inorg. Chem.*, 53, 9156-9165, 2014
- 4 【口頭発表】 小林理賀, 井嶋克爾, MAHSA DARABI, 田野輝, 渡邊陽子, 鈴木秋弘:「ヘムタンパク質外部配位子機能調節モデル化合物の合成について」, 平成 25 年度日本化学会関東支部新潟地域研究発表会, P21, 2014. 11, 長岡市
- 5 【口頭発表】 井嶋克爾・小林理賀・鈴木秋弘:「ポルフィリンへの電子供与基の導入について」, 第 19 回高専シンポジウム in 久留米 K-31, 2014. 1, 久留米市
- 6 【口頭発表】 小林理賀, 井嶋克爾, 鈴木秋弘:「対称型トリフルオロメチル基多置換ポルフィリンの合成について」, 第 19 回高専シンポジウム in 久留米, K-32, 2014. 1, 久留米市
- 7 【口頭発表】 西村龍, 柴田友和, 太虎林, 石上泉, 柳沢幸子, 小倉尚志, 根矢三郎, 鈴木秋弘, 山本泰彦:「ヘム鉄の電子密度の変化がデオキシミオグロビンの Fe-His 配位結合に及ぼす影響」, 日本化学会第 94 春季年会, 2G5, 2014. 3, 名古屋市

- 8 【口頭発表】 西村龍, 西山康太郎, 松本大地, 柴田友和, 石上泉, 小倉尚志, 太虎林, 長尾聡, 松尾貴史, 廣田俊, 莊司長三, 渡辺芳人, 今井清博, 根矢三郎, 鈴木秋弘, 山本泰彦:「酸素結合型ミオグロビンにおける量子化学的共鳴を通じた酸素親和性および自動酸化反応」, 第41回生体分子科学討論会, 06, 2014. 6, 福岡市
- 9 【口頭発表】 西村龍, 松本大地, 柴田友和, 柳澤幸子, 小倉尚志, 太虎林, 松尾貴史, 廣田俊, 根矢三郎, 鈴木秋弘, 山本泰彦:「一酸化炭素よりも酸素に対して高い親和性を示すミオグロビンの創製」, 第52回日本生物物理学会年会, 3P096, 2014. 3, 札幌市
- 10 【口頭発表】 柴田友和, 鈴木康仁, 太虎林, 齋藤香織, 木下真志, 鈴木秋弘, 山本泰彦:「イミダゾール結合型ヘム-DNA複合体の構造解析」, 第8回バイオ関連化学シンポジウム, 1B-02, 2014. 9, 岡山市
- 11 【ポスター発表】 西村龍, 柴田友和, 鈴木秋弘, 根矢三郎, 山本泰彦:「ミオグロビンにおけるヘムと軸配位子ヒスチジンの電子的相互作用を介した外部配位子識別機構の解明」, 第52回NMR討論会, P24, 2013. 11, 金沢市
- 12 【指導】 鈴木秋弘: 第3回新潟県化学インターハイ指導, 2013. 12, 新潟大学
最優秀高等学校(日本化学会関東支部長賞): 長岡工業高等専門学校
最優秀チーム(新潟日報社賞): ルビジウム(長岡工業高等専門学校)
総合種目(NST賞): 優勝 ルビジウム
準優勝 超高専級の化学部(長岡工業高等専門学校)
3位 化学名人(長岡工業高等専門学校)
実験種目: 準優勝 超高専級の化学部, 3位 ルビジウム
筆記試験種目: 優勝 ルビジウム, 準優勝 化学エンハンス(長岡工業高等専門学校)
3位 化学名人
基本実験種目: 準優勝 コミカルビーカー(長岡工業高等専門学校)
3位 化学名人
上級実験種目: 準優勝 超高専級の化学部, 3位 ルビジウム
- 13 【報告】 鈴木秋弘: 「ねむくならない化学実験」, 出前授業, 岩室小学校, 2013. 10
青葉子ども会, 2013. 12, 鏡島小学校, 2014. 6, 新潟南保育園, 2014. 6, 川崎小学校, 2014. 6, 東豊小学校, 2014. 7, 升瀧小学校, 2014. 7

田崎 裕二

- ☆1 【原著論文】 Yuji Tasaki, Ryoji Sato, Shungo Toyama, Keisuke Kasahara, Yuto Ona, and Masayoshi Sugawara: "Cloning of glyceraldehyde-3-phosphate dehydrogenase genes from the basidiomycete mushroom *Pleurotus ostreatus* and analysis of their expression during fruit-body development", *Mycoscience* Vol. 55, No. 4, pp. 280-288, 2014
- ☆2 【原著論文】 Yuji Tasaki, Keiko Kozuka, Kazumi Mochida, and Masayoshi Sugawara: "Effect of sawdust-based spent mushroom substrate treated with steam on rat growth performance", *Food Science and Technology Research*, Vol. 20, No. 2, pp. 493-497, 2014
- 3 【口頭発表】 小林大記, 小黒健太, 田崎裕二:「ヒラタケのリポキシゲナーゼ遺伝子の機能解析」, 第13回糸状菌分子生物学コンファレンス, p. 64, 2013. 11
- 4 【口頭発表】 宮川駿人, 勝田尚樹, 田崎裕二:「マツタケのフェニルアラニンアンモニアリアーゼ遺伝子の構造と機能の解析」, 第13回糸状菌分子生物学コンファレンス, p. 67, 2013. 11
- ☆5 【口頭発表】 Ken Shigeta, Makoto Nanko, Shigekazu Suzuki, Yukikazu Murakami, Yuji Tasaki: "Design of an inspection tour of industries in Viet Nam", *The 3rd International GIGAKU Conference in Nagaoka*, E0-18, 2014. 6
- 6 【口頭発表】 外山茂浩, 宮腰和弘, 田崎裕二:「長岡高専におけるエンジニアリングデザイン教育指導體制の構築」, *Dynamics and Design Conference 2014*, 525, 2014. 8
- 7 【口頭発表】 田崎裕二, 宮川駿人, 勝田尚樹:「マツタケ子実体におけるフェニルアラニンアンモニアリアーゼ遺伝子の発現と桂皮酸メチルの生成」, 日本きのこ学会第18回大会, p. 137, 2014. 9

村上 能規

- ☆1 【著 書】 村上能規：「光化学の事典」, pp. 88-89, 光化学協会 光化学の事典編集委員会, 朝倉書店, 2014
- ☆2 【原著論文】 OGUCHI Tatsuo, MURAKAMI Yoshinori : “Theoretical study on the Kinetics and the mechanism for the gas-phase reaction of 1-naphtylmethyl radical with molecular oxygen.” , Chem. Phys. Lett., vol.585, pp.27-32 , 2013
- ☆3 【原著論文】 CHUA Ming Jing, MURAKAMI Yoshinori : “Influence of Surfactants and Dissolved Gases on the Silver Nanoparticle Plasmon Resonance Absorption Spectra Formed by the Laser Ablation Processes” , ISRN Phys. Chem., Article ID 547378, 7 pages , 2003
- 4 【原著論文】 SIPKENS Tim, JOSHI Gandhali., DAUN Kyle. MURAKAMI Yoshinori : “Sizing of Molybdenum Nanoparticles Using Time-Resolved Laser-Induced Incandescence” , J. Heat. Transfer, vol.135, 052401-1~052401-8 , 2013
- ☆5 【原著論文】 SAKAI Yasuyuki, ANDO Hiromitsu, OGUCHI Tatsuo, MURAKAMI Yoshinori: “Thermal decomposition of 2-phenylethanol: A computational study on mechanism” , Chem. Phys. Lett., vol.556, pp.29-34 , 2013
- 6 【原著論文】 HASHIMOTO Kohtaro, KOSHI Mistuo, MIYOSHI Akira, MURAKAMI Yoshinori, OGUCHI Tatsuo, SAKAI Yasuyuki, ANDO Hiromitsu, TSUCHIYA Kentaro : “Development of Gasoline Combustion Reaction” , SAE Technical Paper 2013-01-0887, doi:10.4271/2013-01-0887 , 2013
- ☆7 【ポスター発表】 MURAKAMI Yoshinori, CHUA Ming Jing : “Observation of the plasmon absorption band shifts of the silver nanoparticles formed by the laser ablation in a solution.” , Proceedings of the International Symposium on the Advanced Nanoparticle Generation and Excitation by Laser in Liquid (ANGEL2014), P-02, 2014
- 8 【口頭発表】 村上能規, 田村兼一, 平川力 : 「クマリンプローブ蛍光法による紫外光照射下におけるマイクロバブル崩壊でのラジカル生成測定」, 平成 25 年度 衝撃波シンポジウム, 1A3-4 , 2014
- 9 【口頭発表】 村上能規, 小口達夫 : 「多環芳香族化合物の燃焼反応と OH ラジカル生成経路の探索」, 第 51 回燃焼シンポジウム, D313 , 2013
- 10 【ポスター発表】 MURAKAMI Yoshinori, OGUCHI Tatsuo : “Quantum chemical studies of the combustion pathways and kinetics of polyaromatic hydrocarbons.” , 平成 24 年度化学系学協会東北大会 (70 周年記念国際大会), 1P104 , 2013
- 11 【ポスター発表】 村上能規 : 「レーザ照射による誘起されたルミノール化学発光の観測」, 2013 年光化学討論会, 3P036 , 2013
- 12 【ポスター発表】 田村 兼一, 村上 能規, 平川 力 : 「マイクロバブルへの紫外光照射で生成するオゾン, OH ラジカル生成機構に関する研究」, 2013 年光化学討論会, 3P026 , 2013
- 13 【ポスター発表】 川力, 村上能規, 西本千郁, 寺本慶之, 金賢夏, 竹内浩士 : 「マイクロバブルアシスト型光触媒反応による難分解性物質の分解」, 2013 年光化学討論会, 1P094 , 2013
- 14 【口頭発表】 村上能規, 平川力 : 「マイクロバブルへの紫外光照射によるオゾン, 活性酸素生成と水浄化への応用」, 化学工学盛岡大会 2013 (3 支部合同大会), B114 , 2013

環境都市工学科

荒木 信夫

- ☆1 【原著論文】 Pattananuwat N, Aoki M, Hatamoto M, Nakamura A, Yamazaki S, Syutsubo K, Araki N, Takahashi N, Harada H, Yamaguchi T : “Performance and microbial community analysis of a full-scale hybrid anaerobic-aerobic membrane system for treating molasses-based bioethanol wastewater” , Int. J. Environ. Res., Vol.7, No.4, pp.979-988, 2013

- ☆2 【原著論文】 Onodera T, Matsunaga K, Kubota K, Taniguchi R, Harada H, Syutsubo K, Okubo T, Uemura S, Araki N, Yamada M, Yamauchi M, Yamaguchi T: “ Characterization of the retained sludge in a down-flow hanging sponge (DHS) reactor with emphasis on its low excess sludge production”, *Bioresour. Technol.*, Vol.136, pp.169-175, 2013
- ☆3 【原著論文】 高橋竜司, 荒木信夫, 川上周司, 青木仁孝, 山口隆司: 「高感度 FISH 法を用いた機能と系統を結びつけるシングルセル解析による脱窒素細菌の同定」, *土木学会論文集 G (環境)*, Vol. 69, No. 7, pp. 531-538, 2013
- ☆4 【原著論文】 坂本健一, 幡本将史, 高橋優信, 久保田健吾, 荒木信夫, 山崎慎一, 大久保努, 上村繁樹, 原田秀樹, 山口隆司: 「嫌気無酸素回分式リアクターを用いた都市下水からの栄養塩除去とリン回収」, *土木学会論文集 G (環境)*, Vol. 69, No. 7, pp. 121-127, 2013
- ☆5 【原著論文】 宮岡佑馬, 幡本将史, 珠坪一晃, 小野寺崇, 多川正, 上村繁樹, 荒木信夫, 山口隆司: 「下水処理 UASB 後段の DHS リアクターにおける排水処理特性と真核生物群集構造の季節変動」, *土木学会論文集 G (環境)*, Vol. 69, No. 7, pp. 257-264, 2013
- 6 【国際会議】 Tsuyoshi YAMAGUCHI, Shuji KAWAKAMI, Masashi HATAMOTO, Masanobu TAKAHASHI, Kengo KUBOTA, Hiroyuki IMACHI, Nobuo ARAKI, Takashi YAMAGUCHI: “Detection of Archaea in an up-flow anaerobic sludge blanket reactor by in situ hybridization chain reaction-fluorescence in situ hybridization”, *The 13th World Congress on Anaerobic Digestion (AD13)*, P.122, 2013
- 7 【国際会議】 T. Yamaguchi, P. Narin, M. Aoki, M. Hatamoto, A. Nakamura and N. Araki: “Performance and microbial community analysis of a full-scale anaerobic, aerobic, and membrane system for treating molasses-based bioethanol-processing wastewater”, *1st International Conference on Energy, Environment and Human Engineering (ICEEHE2013)*, p. 251 (ET-P-12)
- 8 【国際会議】 Tsuyoshi YAMAGUCHI, Shuji KAWAKAMI, Masashi HATAMOTO, Nobuo ARAKI, Takashi YAMAGUCHI: “In situ HCR-FISH; a new sensitive in situ detection method for identification environmental microorganisms”, *The 2nd International GIGAKU Conference in Nagaoka*, p.99, 2013
- 9 【口頭発表】 山口剛士, 川上周司, 幡本将史, 久保田健吾, 高橋優信, 井町寛之, 荒木信夫, 山口隆司: 「新規蛍光増幅技術 (HCR) 法を用いた高感度 FISH 法の開発」, 第 16 回日本水環境学会シンポジウム, pp. 437-442, 2013
- 10 【口頭発表】 大北幸平, 岡崎信二, 山崎慎一, 山口隆司, 荒木信夫, 高橋優信: 「2 槽式 UASB-DHS システムによる高濃度油脂含有廃水の処理」, *土木学会第 68 回年次学術講演会*, 7-072, 2013
- 11 【口頭発表】 山本将光, アイダ アズリナ アズミ, 大槻洸太, 幡本将史, 山口隆司, 高橋優信, 荒木信夫, 山崎慎一: 「嫌氣的硫黄酸化反応が発生した下水処理 UASB 槽内の微生物群集構造解析」, *土木学会第 68 回年次学術講演会*, 7-088, 2013
- 12 【口頭発表】 土田真実子, 平片悠河, 荒木信夫, 関由梨絵, 山口隆司: 「嫌気性原生動物の共生の有無が UASB 槽内の細菌叢に与える影響」, 第 31 回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会, pp. 468-469, 2013
- 13 【口頭発表】 佐藤由佳, 平片悠河, 荒木信夫, 山口隆司: 「UASB 槽内に生息する嫌気性原生動物の群集構造解析」, 第 31 回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会, pp. 470-471, 2013
- 14 【口頭発表】 宮島浩輔, 平片悠河, 荒木信夫, 島津美砂子, 山口隆司: 「原生動物の走電性を用いた単離手法の開発」, 第 31 回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会, pp. 472-475, 2013
- 15 【口頭発表】 TRAN THI THANH THUY, 大槻洸太, 山本将光, 中村明靖, 幡本将史, 山口隆司, 荒木信夫, 山崎慎一: 「糖蜜廃水処理 UASB における嫌氣的硫黄酸化反応とその反応機構の解明」, 第 31 回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会, pp. 490-491, 2013
- 16 【口頭発表】 TRAN THI THANH THUY, 大槻洸太, 山本将光, 中村明靖, 幡本将史, 山口隆司, 荒木信夫, 山崎慎一: 「UASB 槽内での嫌氣的硫黄酸化反応に与える ORP の影響調査および微生物群集構造解析」, *土木学会関東支部第 41 回技術研究発表会*, 2014. 3

- 17 【口頭発表】 大槻洸太, TRAN THI THANH THUY, 黒田恭平, 中村明靖, 幡本将史, 山口隆司:「UASBリアクター内の嫌氣的硫黄酸化反応に与える供給基質の影響」, 土木学会関東支部第41回技術研究発表会, 2014.3
- 18 【口頭発表】 佐藤由佳, 平片悠河, 荒木信夫, 黒田恭平, 山口隆司, 幡本将史:「走電性を用いた嫌氣性原生動物の分離とその解析」, 第48回日本水環境学会年会, p.289. 2014.3
- 19 【口頭発表】 土田真実子, 平片悠河, 荒木信夫, 山口隆司, 幡本将史:「嫌氣性原生動物の共存が都市下水処理UASBの処理性能に与える影響」, 第48回日本水環境学会年会, p.290, 2014.3
- 20 【口頭発表】 TRAN THI THANH THUY, 大槻洸太, 黒田恭平, 中村明靖, 幡本将史, 山口隆司, 山崎慎一, 荒木信夫:「嫌氣性リアクターを用いた硫黄の嫌氣的酸化還元に与えるORPの影響」, 第48回日本水環境学会年会, p.286, 2014.3
- 21 【口頭発表】 大槻洸太, TRAN THI THANH THUY, 黒田恭平, 中村明靖, 幡本将史, 山口隆司, 山崎慎一, 荒木信夫:「UASBリアクター内における嫌氣的硫黄酸化反応と供給基質の関係」, 第48回日本水環境学会年会, p.504, 2014.3

井林 康

- ☆1 【原著論文】 井林 康:「タブレット端末を用いた橋梁概略点検システムの構築と実地調査による検証」, 第1回北陸橋梁保全会議, 2013.11
- ☆2 【報 告】 井林康:「タブレット端末を用いた橋梁概略点検システムの構築と小規模自治体での実地試験」, 土木施工, Vol.55, No.2, 2014.2
- ☆3 【報 告】 丸山久一, 井林康, 下村匠, 田中泰司:「地方自治体における橋梁の効率的な維持管理手法の開発と現実の課題」, 橋梁と基礎, Vol.47, No.11, pp.45-49, 2013.11
- 4 【報 告】 丸山久一, 井林康 他:「平成25年度 大河津可動堰撤去に伴う学術的検討業務報告書」, 土木学会大河津可動堰記録保存検討委員会, 2014.3
- 5 【口頭発表】 佐々木悠祐, 井林康:「タブレット端末と間接目視器具による橋梁概略点検システムの実地調査による検証」, 第4回コンクリート技術大会(長岡), 2014.9
- 6 【口頭発表】 佐々木悠祐, 井林康:「タブレット端末を用いた橋梁の概略点検システムおよび間接目視器具の有効性の検討」, 第69回土木学会全国大会年次学術講演会, VI-138, 2014.9
- 7 【口頭発表】 小野口文華, 井林康:「大河津分水旧可動堰の管理橋における劣化・損傷状況の把握」, 第31回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会, V-208, pp.356-357, 2013.11
- 8 【口頭発表】 佐々木悠祐, 井林康:「タブレット端末を用いた橋梁の概略点検システムの実地調査による有効性の検討」, 第31回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会, VI-101, pp.414-415, 2013.11
- 9 【口頭発表】 小川朝水, 井林康:「スマートフォンを用いた市民参加型公共構造物点検システムの構築と試行」, 第31回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会, VI-102, pp.416-418, 2013.11
- 10 【口頭発表】 山崎周, 中島健人, 井林康:「北陸地方の橋梁点検結果による沿岸部の損傷推移に関する基礎的検討」, 第31回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会, V-103, pp.418-419, 2013.11.
- 11 【口頭発表】 井林康, 細田暁:「コンクリート施工状況把握チェックシートと表層品質目視評価手法のタブレット端末化について」, 第3回コンクリート技術大会(郡山), 2013.10

岩波 基

- ☆1 【原著論文】 岩波基:「長期供用された地下コンクリートにおける地盤の透水性の影響に関する分析と評価」, コンクリート工学年次論文報告集, Vol.36, No.2, pp.1387-1392, 2014.7
- ☆2 【原著論文】 FUJIKI Ikuo, MINAKAMI Hiroyuki, IWANAMI Motoi :“ Safety of Subway Structures in Proximity of New Construction of a High-Rise Building” , Proceedings of the World Tunnel Congress 2014-Tunnels for a better Life. Foz do Iguaçu, Brazil, 2014.5
- ☆3 【原著論文】 岩波基, 大石雅彦, 阿部慎太郎:「大深度ニューマチックケーソンにおける作業気圧低減による影響と対策について」, 第23回トンネル工学報告集, 第23巻, pp.343-348, 2013.11

- ☆4 【原著論文】 板場建太, 岩波基:「大深度円形立坑の地下連続壁における設計用水圧に関する一考察」, 土木学会論文集 F1 (トンネル工学) 特集号, Vol. 69, No. 3 (特集号), pp. I_31-I_41, 2013. 11
- ☆5 【原著論文】 荒川涼, 岩波基:「地下水位回復地区における変形に関する一考察響について」, 第40回地盤工学シンポジウム, pp. 249-252, 2013. 11
- 6 【口頭発表】 岩波基, 大石敬司, 新井泰:「80年以上供用した地下鉄トンネルのコンクリートの品質について」, 平成26年度全国大会 第69回土木年次学術講演会, VI-152, 2014. 9
- 7 【口頭発表】 Bat-Erdene Bolor, 井上晋太郎, 岩波基:「100m以上の大深度円形立坑の地下連続壁への2リングモデルの適用効果に関する試算」, 平成26年度全国大会 第69回土木年次学術講演会, VI-159, 2014. 9
- 8 【口頭発表】 井上晋太郎, Bat-Erdene Bolor, 岩波基:「100m以上の大深度円形立坑の本体側壁の合理化に関する試算」, 平成26年度全国大会 第69回土木年次学術講演会, VI-158, 2014. 9
- 9 【口頭発表】 岩渕崇宏, 岩波基:「水位回復地区における地下鉄トンネル変形に関する検討〜その2〜」, 平成26年度全国大会 第69回土木年次学術講演会, VI-459, 2014. 9
- 10 【口頭発表】 関すみれ, 岩波基:「粘性土地盤中のシールドセグメントの限界状態設計法における荷重係数の選定について」, 平成26年度全国大会 第69回土木年次学術講演会, VI-460, 2014. 9
- 11 【口頭発表】 Bat-Erdene Bolor, 井上晋太郎, 岩波基:「大深度円形立坑の地下連続壁への2リングモデルの適用効果に関する試算」, 第49回地盤工学研究発表会, pp. 1293-1294, 2014. 7
- 12 【口頭発表】 岩渕崇宏, 荒川涼, 岩波基:「地下水位回復地区における隆起時の地盤特性がトンネル変形に与える影響の試算」, 第49回地盤工学研究発表会, pp. 1287-1288, 2014. 7
- 13 【口頭発表】 井上晋太郎, Bat-Erdene Bolor, 岩波基:「大深度円形立坑の本体側壁の合理化に関する試算」, 第49回地盤工学研究発表会, pp. 1295-1296, 2014. 7
- 14 【口頭発表】 関すみれ, 荒牧和沙, 岩波基:「砂質土地盤中のシールドセグメントの限界状態設計法における荷重係数の選定について」, 第49回地盤工学研究発表会, pp. 1291-1292, 2014. 7
- 15 【口頭発表】 板場建太, 井上晋太郎, 岩波基:「水圧が卓越する大深度地盤内の円形立坑壁に発生する断面力について」, 土木学会関東支部第41回技術研究発表会, III-15, 2014. 3
- 16 【口頭発表】 岩渕崇宏, 荒川涼, 岩波基:「地下水位回復地区における地下鉄トンネル変形に関する検討」, 土木学会関東支部第41回技術研究発表会, III-16, 2014. 3
- 17 【講演】 岩波基:「トンネル工学技術講演会の経緯と目的土木学会」, トンネル工学技術講演会 2014. 9
- 18 【講演】 岩波基:「THS工法の設計についてTHS工法協会総会」, 基調講演 2014. 6
- 19 【講演】 岩波基:「トンネル工学技術講習会の経緯と目的土木学会」, トンネル工学技術講習会 2014. 6

塩野 計司

- 1 【著書】 埜田邦彦, 疋田誠, 壇和秀, 吉村優治, 塩野計司:「防災工学」, コロナ社, 2014. 3

宮腰 和弘

- 1 【口頭発表】 波多夏実, 高杉啓佑, 宮腰和弘:「市街化区域拡大による住居系用途地域の拡大と問題点ー長岡市を対象としてー」, 第31回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会論文集, pp. 246-247, 2013. 11
- 2 【口頭発表】 池佳祐, 梅沢圭祐, 宮腰和弘:「歩道除雪による堆雪帯成長の把握とシミュレーション」, 第31回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会論文集, pp. 248-249, 2013. 11
- 3 【口頭発表】 小野塚健悟, 宮腰和弘, 樋口秀:「地方都市周辺部集落における住民意識と今後について」, 第31回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会論文集, pp. 312-315, 2013. 11

- 4 【口頭発表】 金子昇平, 宮腰和弘:「地方都市における土地利用推移と要因について—新潟県三条市を対象に—」, 第31回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会論文集, pp. 316-317, 2013. 11
- 5 【口頭発表】 山崎絢子, 宮腰和弘:「建築確認申請を用いた市街化調整区域周辺における建築状況について」, 第31回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会論文集, pp. 318-319, 2013. 11
- 6 【口頭発表】 外山茂浩, 宮腰和弘, 田崎裕二:「長岡高専におけるエンジニアリングデザイン教育指導体制の構築」, Dynamics and Design Conference 2014, 525, 2014. 8

宮寄 靖大

- ☆1 【原著論文】 加藤健太郎, 宮寄靖大, 奈良敬:「単軸面内準静的負荷を受けるステンレス鋼板の強度特性」, 鋼構造年次論文報告集, 第21巻, pp. 131-138, 2013. 11
- ☆2 【原著論文】 宮寄靖大, 奈良敬:「応力ひずみ関係に基づくステンレス鋼圧縮板の終局強度評価法」, 鋼構造論文集, Vol. 20, No. 79, pp. 67-80, 2013. 9
- 3 【口頭発表】 阿部真之介, 宮寄靖大, 奈良敬:「材料の応力ひずみ関係におけるひずみ硬化勾配の変化が板の終局圧縮強度に及ぼす影響」, 平成26年度土木学会全国大会第69回年次学術講演会, I-137, CD-ROM, 2014. 9
- 4 【口頭発表】 濱達矢, 石井孝明, 宮下剛, 宮寄靖大:「溶接組立されたステンレス鋼柱の終局圧縮強度に関する実験的研究」, 平成26年度土木学会全国大会第69回年次学術講演会, I-141, CD-ROM, 2014. 9
- 5 【口頭発表】 井比亨, 宮寄靖大, 奈良敬:「面内純圧縮負荷を受ける SUS410L および SM400 で構成される単リブ補剛板の強度特性」, 平成26年度土木学会全国大会第69回年次学術講演会, I-142, CD-ROM, 2014. 9
- 6 【口頭発表】 加藤健太郎, 宮寄靖大, 奈良敬:「単軸面内準静的負荷時における SUS304 および SUS410L 製周辺単純支持板の極限圧縮強度特性」, 平成26年度土木学会全国大会第69回年次学術講演会, I-143, CD-ROM, 2014. 9
- 7 【口頭発表】 和田勇輝, 宮寄靖大, 奈良敬:「SUS304N2 および SM490Y で構成されるハイブリッド I 形断面梁の終局曲げ強度」, 平成26年度土木学会全国大会第69回年次学術講演会, I-144, CD-ROM, 2014. 9
- 8 【口頭発表】 小見恒介, 五十嵐遥香, 宮寄靖大, 奈良敬:「促進腐食試験によるステンレス鋼と炭素鋼を溶接接合した厚板の腐食性状」, 平成26年度土木学会全国大会第69回年次学術講演会, I-590, CD-ROM, 2014. 9
- 9 【口頭発表】 數井佑丞, 宮寄靖大:「SUS304 および SM400 で構成されるハイブリッド補剛板の圧縮強度特性」, 第41回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, I-57, 2014. 3.
- 10 【口頭発表】 阿部真之介, 宮寄靖大:「材料の応力ひずみ関係が板の圧縮強度特性に及ぼす影響」, 第41回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, I-58, 2014. 3
- 11 【口頭発表】 加藤健太郎, 宮寄靖大:「単軸面内準静的負荷を受けるステンレス鋼周辺単純支持板のエネルギー吸収能」, 第41回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, I-59, 2014. 3
- 12 【口頭発表】 石井孝明, 宮下剛, 宮寄靖大, 濱達矢:「溶接組立てしたステンレス鋼柱の残留応力計測」, 第41回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, I-60, 2014. 3
- 13 【口頭発表】 五十嵐遥香, 宮寄靖大:「ステンレス鋼と炭素鋼を溶接接合した厚板の促進腐食試験による異種金属接触腐食の発現性」, 第41回土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集, I-71, 2014. 3
- 14 【口頭発表】 ビンウェイ, 宮寄靖大:「面内純せん断負荷を受けるステンレス鋼周辺単純支持板の強度特性」, 第31回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会, pp. 40-41, 2013. 11
- 15 【口頭発表】 加藤健太郎, 宮寄靖大:「単軸面内準静的負荷を受ける SUS410L および SUS329J3L 製周辺単純支持板の強度特性」, 第31回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会, pp. 42-45, 2013. 11
- 16 【口頭発表】 石井孝明, 宮下剛, 宮寄靖大, 井口建斗:「ステンレス鋼を用いた溶接組立柱の残留応力」, 第31回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会, pp. 78-79, 2013. 11
- 17 【口頭発表】 阿部真之介, 宮寄靖大:「材料の応力ひずみ関係が板の圧縮強度特性に及ぼす影響」, 第31回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会, pp. 80-83, 2013. 11

- 18 【口頭発表】 菊池都，宮寄靖大：「ステンレス鋼および炭素鋼で構成されるハイブリッド I 形断面はりの終局曲げ強度」，第 31 回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会，pp. 84-87，2013. 1
- 19 【口頭発表】 井口建斗，石井孝明，宮寄靖大，宮下剛：「オーステナイト系およびマルテンサイト系ステンレス鋼への Ramberg-Osgood 曲線の適用性について」，第 31 回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会，pp. 88-89，2013. 11
- 20 【口頭発表】 數井佑丞，宮寄靖大：「SUS329J3L および SM570 で構成されるハイブリッド補剛板の圧縮強度特性」，第 31 回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会，pp. 90-93，2013. 11

村上 祐貴

- ☆1 【原著論文】 刈谷潤貴，高木大地，村上祐貴：「腐食膨張挙動に対するコンクリートの拘束圧が鉄筋腐食量とかぶり表面の腐食ひび割れ幅の關係に及ぼす影響」，コンクリート工学年次論文集，Vol. 36，No. 1，pp. 1174-1179，2014
- ☆2 【原著論文】 坂井亮磨，有馬直秀，宮 剛，村上祐貴：「速硬性混和材を用いたコンクリートにおける若材齢時の塩分浸透 特性および鉄筋の付着特性に関する一考察」，コンクリート工学年次論文集，Vol. 36，No. 1，pp. 964-969，2014
- ☆3 【原著論文】 菫澤洋平，村上祐貴：「腐食膨張挙動に対するコンクリートの拘束圧に及ぼす補強筋の影響とその影響範囲」，コンクリート工学年次論文集，Vol. 36，No. 1，pp. 1156-1161，2014
- ☆4 【原著論文】 阿部哲雄，番場俊介，村上祐貴：「鉄筋腐食した RC 部材の付着応力性状に及ぼす横補強筋の影響」，コンクリート工学年次論文集，Vol. 36，No. 1，pp. 1282-1287，2014
- ☆5 【原著論文】 Shunsuke Banba, Tetsuo Abe, Kazuma Nagaoka and Yuki Murakami: "Evaluation Method for Bond-Splitting Behavior of Reinforced Concrete with Corrosion Based on Confinement Stress of Concrete against Corrosion Expansion", Journal of Advanced Concrete Technology, Vol. 12, No. 1, pp. 7-23, 2014. 1
- 6 【報告書】 横田弘，佐藤靖彦，村上祐貴（他 14 名）：「コンクリート構造物の設計と維持管理の連携による性能確保システム研究小委員会成果報告書」，土木学会コンクリート技術シリーズ 105，4. 2. 1，pp. 53-61（分担執筆部分），2014. 7
- 7 【口頭発表】 坂井亮磨，有馬直秀，石川裕一，村上祐貴：「速硬性混和材を用いたコンクリートと鉄筋の若材齢時における付着特性」，土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集，Vol. 41，V-2，2014. 3
- 8 【口頭発表】 刈谷潤貴，高木大地，村上祐貴：「かぶりや鉄筋径の違いが鉄筋腐食量とかぶり表面の腐食ひび割れ幅との關係に及ぼす影響」，土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集，Vol. 41，V-3，2014. 3
- 9 【口頭発表】 高木大地，刈谷潤貴，村上祐貴：「横補強筋が鉄筋腐食量とかぶり表面の腐食ひび割れ幅の關係に及ぼす影響」，土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集，Vol. 41，V-4，2014. 3
- 10 【口頭発表】 土井隆，金子生樹，村上祐貴：「主鉄筋の付着区間を制御した鉄筋コンクリート部材のせん断耐荷性状」，土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集，Vol. 41，V-5，2014. 3
- 11 【口頭発表】 菫澤洋平，杉澤元次郎，村上祐貴：「腐食膨張挙動に対する補強筋のコンクリート拘束効果」，土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集，Vol. 41，V-8，2014. 3
- 12 【口頭発表】 番場俊介，阿部哲雄，村上祐貴：「横補強筋が腐食 RC 部材の付着応力性状に及ぼす影響」，土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集，Vol. 41，V-9，2014. 3
- 13 【口頭発表】 金子生樹，村上祐貴：「局所的に鉄筋腐食を生じた RC はり部材の耐荷性状に及ぼす付着劣化の影響」，土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集，Vol. 41，V-10，2014. 3
- 14 【口頭発表】 有馬直秀，石川裕一，坂井亮磨，村上祐貴：「特殊コンクリートにおける若材齢時の塩分浸透特性」，土木学会関東支部技術研究発表会講演概要集，Vol. 41，V-32，2014. 3

- 15 【口頭発表】 菑澤洋平，杉澤元次郎，村上祐貴：「主鉄筋軸方向の腐食膨張挙動に対するコンクリートの拘束圧に及ぼす補強筋の影響」，土木学会関東支部第31回新潟会研究調査発表会論文集，pp. 346-349，2013. 11
- 16 【講演】 村上祐貴：「コンクリートの基礎知識に関する講習会」，新潟県コンクリートメンテナンス研究会，2014. 8
- 17 【講演】 村上祐貴：「コンクリート構造物の維持管理（上越会場）」，新潟県建設技術センター第17回けんせつセミナー2013，2013. 11
- 18 【講演】 村上祐貴：「コンクリート構造物の維持管理（新潟会場）」，新潟県建設技術センター第16回けんせつセミナー2013，2013. 11

山本 隆広

- 1 【口頭発表】 谷口恵梨，陸旻皎，山本隆広：「XAJSF モデルによる県内中小河川の洪水流出解析に関する研究」，第31回土木学会関東支部新潟会研究調査発表会，2013. 11. 19
- 2 【口頭発表】 山本隆広，平沢勇之助：「信濃川上中流域を対象とした流域一体的な洪水予測システムの開発にむけて」，水環境技術研究会研究事業調査報告会，2014. 3. 17
- 3 【口頭発表】 齋藤駿介，熊倉俊郎，山本隆広：「WRF モデルの風速分布を用いた積雪分布の地形依存性に関する基礎研究」，雪氷研究大会，2014. 9. 20-23

教育研究技術支援センター

星井 進介

- 1 【口頭発表】 星井進介：「教育研究技術支援センターにおける「科学の祭典」への出展取り組み」，第5回高専技術教育研究発表会 in 木更津，2014. 3
- 2 【ポスター発表】 星井進介：「新潟県「青少年のための科学の祭典」に参加して」，平成26年度 総合技術研究会，2014. 9